



平成 21 年 11 月 14 日 (土)・15 日 (日) パシフィコ横浜他 <http://sanfair.jp>

第19回全国産業教育フェア神奈川大会 さんフェア神奈川2009

募 集 要 項

- | | | |
|---|-----------------------------------|----|
| 1 | 作品展示 | 1 |
| 2 | 学校生産物等展示即売 | 6 |
| 3 | 意見・体験発表 | 10 |
| 4 | 作品・研究発表 | 14 |
| 5 | 第8回フラワーアレンジメントコンテスト | 18 |
| 6 | 第17回全国高等学校ロボット競技大会 | 22 |
| 7 | 参加申込方法等一覧 | 44 |
| 8 | 第19回全国産業教育フェア神奈川大会
に係る募集・応募フロー | 45 |

か な が わ
「かなえよう 仲間とともに 輝く 私たちの夢」



神奈川ロゴマーク

本件連絡先

神奈川県教育委員会教育局高校教育課
第19回全国産業教育フェア神奈川大会実行委員会事務局
〒231-8509
神奈川県横浜市中区日本大通り 33
担当 片受、日置、岩崎、仲神
TEL 045-210-1111 (内線 8276)
FAX 045-210-8922

第 19 回全国産業教育フェア神奈川大会
さんフェア 神奈川 2009
作品展示募集要項

1 概 要

専門高校等の実習・課題研究等での生徒作品や研究発表を展示・実演する。

2 作品数

(1) 神奈川県を除く全国からの展示作品数は、原則として次の表のとおりとする。

学科	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	福祉	総合	合計
作品数	18	18	18	8	18	8	3	3	3	97

(2) 展示作品出展校については、原則として各学科の全国高等学校長協会に依頼し選定する。

(3) 予定数以外の出展については、事務局と相談の上で決定する。

3 日 程

(1) 期日

平成 21 年 11 月 14 日（土）～ 15 日（日）

(2) 時間

11 月 14 日（土） 10:00～16:00

11 月 15 日（日） 10:00～15:30

4 会 場

パシフィコ横浜 展示ホール B

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1

TEL 045-221-2155（総合案内） FAX 045-221-2136 <http://www.pacifico.co.jp>

5 内容等

(1) 展示作品は原則として、次の範囲で展示できるものとする。この範囲を越える作品は、事前に当該学科の受付・問合せ担当校(P3の9(2)、以下同様)と相談する。

奥行	幅	高さ	使用電源
1.5m 以内	2.5m 以内	2.0m 以内	単相交流 50Hz、100V (200V 不可)、5 A 以下

(2) 展示についての注意事項

ア 火気の使用は禁止する。

イ 展示の際、次に該当するものについては事前に当該学科の受付・問合せ担当校と相談する。

水を使用するもの。

大きな音や強い光を出すものや臭い・ガス・煙を発生するもの。

倒れる危険性のあるもの。

床を傷つけやすいものや重量の重いもの。

スポット照明等、特別な照明を必要とするもの。

演示するために、ある程度の面積を必要とするもの。

その他、特別な配慮が必要と考えられるもの。

(3) 展示作品の破損、盗難等については補償しない。

6 展示作品の据え付け等

- (1) 展示作品の据付け場所は、パシフィコ横浜展示ホールB担当校(P3の10)で決定する。
- (2) 作品の展示準備は、11月13日(金)の9:00から17:00の間に行う。その際、受付で展示場所・方法等について指示を受ける。
- (3) 展示作品の据付けは出展者が行う。出展者による据付けが困難な場合は、事前に当該学科の受付・問合せ担当校に相談する。
- (4) 作品についての説明は、出展者が行うこと。
また、説明にOA機器等を用いる場合は、事前に当該学科の受付・問合せ担当校と相談する。
- (5) その他、詳細については、事前に当該学科の受付・問合せ担当校と打合せを行なう。

7 展示作品の搬入及び搬出

- (1) 展示作品の搬入詳細については、申込み受付後、当該学科の受付・問合せ担当校から連絡する。
- (2) 搬入する展示作品は、原則として梱包のまま保管できるものとする。保管に特別の配慮が必要なものは、当該学科の受付・問合せ担当校と相談し、その旨を表記した掲示物を梱包に貼付する。
- (3) 11月15日(日)展示終了後の作品の梱包、搬出は出展者が行う。出展者による梱包、搬出が困難な場合は、事前に当該学科の受付・問合せ担当校と相談する。

8 交通費・宿泊費及び作品輸送費

- (1) 作品の展示(説明を含む)に係る生徒の宿泊費(2名以内 2泊)は、後日送付する「宿泊要項」により宿泊を申し込んだ場合のみ、事務局から一律1名1泊につき4,000円を補助する。交通費は補助しない。
- (2) 引率者の交通費及び宿泊費については、事務局で補助しない。
- (3) 宿泊希望者については、事務局が宿泊先を斡旋する。宿泊は、別途送付する「宿泊要項」による。
- (4) 作品輸送費(梱包代金等を含む)は、別途送付する「輸送要項」により申し込んだ場合のみ、往復20,000円を限度として、事務局で補助する。
- (5) 展示・演示用消耗品等の費用は、出展者が負担する。

9 申込方法

- (1) 各都道府県教育委員会・政令市教育委員会は、本要項に基づき、7月17日(金)までに所定の参加申込書(様式1-1、様式1-2)に必要事項を記入の上、当該学科の受付・問合せ担当校へ申し込む。

(2) 各学科の受付・問合せ担当校

対象学科	担当校	所在地	校長 担当者
農業	県立吉田島農林高等学校	〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島 281 TEL 0465-82-0151 FAX 0465-82-7684 E-mail engei-yoshidajima-ah@pen-kanagawa.ed.jp	校長 山崎 紀彦 担当者 菊池 正光
工業	県立磯子工業高等学校	〒235-0023 横浜市磯子区森 5-24-1 TEL 045-761-0251 FAX 045-754-3171 E-mail isogo-th@pref.kanagawa.jp	校長 吉岡 謙二郎 担当者 佐藤 克典
商業	県立平塚商業高等学校	〒254-0054 平塚市中里 50-1 TEL 0463-31-2385 FAX 0463-34-4494 E-mail hiratsuka-ch@pref.kanagawa.jp	校長 鈴木 賢 担当者 加藤 明良
水産	県立海洋科学高等学校	〒240-0101 横須賀市長坂 1-2-1 TEL 046-856-3128 FAX 046-857-6457 E-mail kaiyoukagaku-h@pref.kanagawa.jp	校長 新井 由紀男 担当者 水野 章
家庭	川崎市立川崎高等学校	〒210-0806 川崎市川崎区中島 3-3-1 TEL 044-244-4981 FAX 044-211-8295	校長 市野 典明 担当者 米丸 久美子
看護 福祉	県立二俣川看護福祉高等学校	〒241-0815 横浜市旭区中尾 1-5-1 TEL 045-391-6165 FAX 045-361-9777 E-mail futamatagawa-h@pref.kanagawa.jp	校長 加藤 文次良 担当者 米山 貴之
国際 情報	県立横浜国際高等学校	〒232-0066 横浜市南区六ツ川 1-731 TEL 045-721-1434 FAX 045-742-9493 E-mail y-kokusai-h@pref.kanagawa.jp	校長 羽入田 眞一 担当者 笠原 博明
総合 学科	県立麻生総合高等学校	〒215-0023 川崎市麻生区片平 1778 番地 TEL 044(987)1750 FAX 044(989)6074 E-mail asaosogo-h@pref.kanagawa.jp	校長 藤井 幹夫 担当者 川口 晴久

10 作品展示会場（展示ホールB）担当校（展示物等一括保管差配、搬出入差配）

県立神奈川工業高等学校 担当 武井

〒221-0812 横浜市神奈川区平川町 19-1 TEL 045-491-9461 FAX 045-413-4101

11 実行委員会事務局

神奈川県教育委員会教育局高校教育課 全国産業教育フェア神奈川大会実行委員会事務局

担当 白置、片受

〒231-8509 横浜市中区日本大通 33 TEL 045-210-8276 FAX 045-210-8922

<http://sanfair.jp>

(様式1 - 1)

整理番号	
------	--

第19回全国産業教育フェア神奈川大会

さんフェア神奈川 2009

作品展示参加申込書

地区名	北海道 東北 関東 中部(東海 北信越) 近畿 中国 四国 九州 (で囲む)	都道府県名	
展示学科区分	農業 工業 商業 水産 家庭 看護 福祉 情報 総合学科 (で囲む)		
ふりがな 学校名	立		高等学校
学科名	科		
ふりがな 作品・実演名			
作品寸法	縦()cm×横()cm×高さ()cm、重量()kg		
説明用パネル	縦()cm×横()cm ()枚		
作品展示台	必要 不要 ----- 必要、不要を で囲む。必要の場合、台の大きさはW×D×H(検討中)で1台までとする。		
搬入方法	指定日時		
展示者	出展者 当該学科の受付担当校委託 (で囲む)		
使用電力	不要 必要(100V 50Hz A) コンセント数()個		
コンプレッサ	不要 必要 (で囲む)		
マネキン	合計 体	子ども用()体 紳士用()体	婦人用()体 和服衣装()体 ズボン用()体 その他()体
その他	当該学科受付担当校への連絡事項(コンセント2口以上使用する場合は概略を記載する。)		
担当者 (引率者)	ふりがな 所 属		立 高等学校
	ふりがな 氏 名		
	所在地 〒		
	TEL	FAX	
	E-mail		
設 営 等	生徒氏名(搬入、据付け、説明等)*		引率者氏名
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			

整理番号の欄は、何も記入しないこと。

*生徒の個人データが含まれるので、郵送してください。

(様式 1 - 2)

整理番号	
------	--

第 19 回全国産業教育フェア神奈川大会

さんフェア神奈川 2009

作品概要と展示寸法

都道府県名	学校名	高等学校	科
作品名称			
作品概要			
作品図面 (寸法は、cm 単 位で記入する こと。)	(平面図)	(補足事項)	
	(正面図)	(右側面図)	
展示・演示の 仕方			

整理番号の欄は、何も記入しないこと。

できれば展示作品の写真又は詳細図等を添付すること。

第 19 回全国産業教育フェア神奈川大会

さんフェア神奈川 2009

学校生産物等展示即売募集要項

1 概要

専門高校等で学ぶ全国の高校生が、実習等において製作した作品、製品、生産物及び実習取扱商品等（以下、「学校生産物等」という。）を展示即売する。

2 日程

(1) 期日

平成 21 年 11 月 14 日（土）～ 15 日（日）

(2) 時間

11 月 14 日（土） 10:00～16:00

11 月 15 日（日） 10:00～15:30

3 会場

パシフィコ横浜 展示ホールB、国際交流ゾーン「プラザ」

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1

TEL 045-221-2155（総合案内） FAX 045-221-2136 <http://www.pacifico.co.jp>

4 出品条件

- (1) 展示即売品の製作費・輸送費は出品校が負担する。
- (2) 特殊な保存(冷凍・冷蔵等)が必要な展示即売品は、事前に受付・問合せ担当校と協議すること。
- (3) 実演しながらの展示即売（調理実習を兼ねた即売等）は不可とする。

5 学校生産物等展示即売の販売及び会計処理等

- (1) 販売は委託販売とし、店舗設営販売上の工夫は、受付・問合せ担当校の生徒が行う。
- (2) 展示即売品の希望価格は、1品につき2,000円以内（100円未満は50円または0円）総額は1校で50,000円以内と設定する。（学校生産物等展示即売申込書（様式2-1）に販売時の希望価格を記入すること。）
- (3) 完売を目指すために、最終日は販売価格を調整する場合がある。
- (4) 売れ残りは、原則として開催県に寄付するものとして取り扱う。
- (5) 売上金の9割は、事務局から各出品校の指定口座に振り込む。（1割は、事務処理経費とする。）
- (6) 展示即売品目、出品校のパネルは、受付・問合せ担当校で表示する。
- (7) 展示即売品が重複した場合には、品目を調整する場合がある。
- (8) 展示即売品は、常温保存が可能で、期間中を含めて賞味期限内のものとする。

6 学校生産物等展示即売品の送付等

- (1) 展示即売品の送付詳細については、申込み受付後、受付・問合せ担当校より連絡する。
- (2) 展示即売品の受付日時は平成 21 年 11 月 12 日 (木) の午後に届くものとする。送付にあたっては、展示即売品の特質や輸送日数等を考慮し、受付日時を厳守すること。やむを得ない事情で送付が受付日時を前後する場合は、必ず事前に受付・問合せ担当校と協議すること。
- (3) 送付の際には、申込み受付後に送付する「輸送伝票」と「内容明細票」に必要事項を記入の上、梱包に貼付しておくこと。
また、それらの写しを、指定された日までに受付・問合せ担当校宛に送付すること。
- (4) 展示即売品の輸送に特別な配慮が必要なものについては、「学校生産物等展示即売申込書」(様式 2 - 1) と「内容明細票」の備考欄に明記するとともに、受付・問合せ担当校と協議しておくこと。
- (5) 展示即売品が輸送・保管・搬入・搬出中に損傷した場合は、その取扱いについて受付・問合せ担当校が出品校と協議する。

7 申込方法

各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会は、本要項に基づき 7 月 17 日 (金) までに所定の申込書・説明書 (様式 2 - 1、様式 2 - 2) に必要事項を記入の上、受付・問合せ担当校までに申し込む。

8 受付・問合せ担当校

学校名	所在地	校長 担当者
県立相原高等学校	〒229-1103 相模原市橋本 2-1-58 TEL 042-772-0331 FAX 042-772-9734 E-mail m-tanaka@pen-kanagawa.ed.jp	校長 鈴木 芳行 担当者 <small>たなか</small> 田中 <small>まもる</small> 守

9 実行委員会事務局

神奈川県教育委員会教育局高校教育課 全国産業教育フェア神奈川大会実行委員会事務局
担当 なかがみ 仲神、かたうけ 片受

〒231-8509 横浜市中区日本大通 33 TEL 045-210-8276 FAX 045-210-8922

<http://sanfair.jp>

(様式 2 - 1)

整理番号

第 19 回全国産業教育フェア神奈川大会
さんフェア神奈川 2009

学校生産物等展示即売 申込書

* 口座番号等のデータが含まれるので、郵送してください。

地 区 名	北海道 東北 関東 中部 (東海 北信越) 近畿 中国 四国 九州 (で囲む)	都道府県名				
学 科 区 分	農業 商業 水産 その他 () で囲む					
学 校 名	立	高等学校	科			
所 在 地	〒 TEL	FAX				
担 当 者	E-mail					
	展示即売品名	数量	単 位 (箱・袋・缶等)	希望単価	金 額 (数量 × 単価)	備 考 (要冷蔵等)
1						
2						
3						
4						
5						
合 計						
振 込 先 口 座 *	金融機関(支店)					
	預 金 種 目					
	口 座 番 号					
	フ リ ガ ナ 口 座 名 義					
その他 (受付担当校への連絡事項)						

- 1 整理番号の欄には、何も記入しないこと。
- 2 お客様への試食用があれば、よろしく願いしたい。
- 3 産業教育フェアの趣旨に基づいて、多くのお客様に商品が提供できるよう、原価・特価での提供をお願いしたい。

(様式 2 - 2)

整理番号	
------	--

第 19 回全国産業教育フェア神奈川大会

さんフェア神奈川 2009

学校生産物等展示即売品 説明書

学校名	立	高等学校	学科名	科
-----	---	------	-----	---

品名	
----	--

販売希望価格調査票

学校名	立	高等学校
品名		整理番号
価格	1 () につき	円

整理番号の欄は、何も記入しないこと。
説明書の原稿については、POP(購買時点)広告等に利用するので、ていねいに記入すること。
下段の価格欄の()内は、即売品の単位(箱・個・缶・瓶・本等)を記入すること。
2品以上の場合は、用紙をコピーし、1品につき1枚とする。

第 19 回全国産業教育フェア神奈川大会

さんフェア神奈川 2009

意見・体験発表募集要項

1 概要

専門高校等で学ぶ高校生が、日頃の学習やインターンシップ体験で学んだことについて意見や体験を発表し、その発表に基づいた意見交換を行う。

2 発表数 10発表

- (1) 全国の農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉・総合に関する学科から各 1 発表を行う。
- (2) 神奈川県内は、1 発表を行う。

3 日程

- (1) 期日
平成 21 年 11 月 14 日 (土)
- (2) 時間
14:00 ~ 16:15

4 会場

パシフィコ横浜 メインホール
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1
TEL 045-221-2155 (総合案内) FAX 045-221-2136 <http://www.pacifico.co.jp>

5 内容等

- (1) 発表時間は、1 発表につき 7 分以内 (準備・整理時間は含まない。) とする。
- (2) 産業教育に関わりの深いことがらについて発表すること。
- (3) 発表用の機械・器具を使用することができる。
なお、事務局では発表会場に液晶ビデオプロジェクター、DVD デッキ、ノートパソコン等を用意する (様式 3 - 2 を参照)。これら以外の機械・器具及び接続ケーブルについては、発表者が用意すること。
- (4) 発表終了後、発表者全員による意見交換会を行う。
- (5) 発表終了後、審査委員会で表彰者を決定して表彰する。

6 リハーサル及び打合せ等

- (1) リハーサルは、11 月 13 日 (金) に行うことができる。(時間は未定)
なお、発表当日のリハーサルはできない。
- (2) リハーサル希望の有無については、機器等申込書 (様式 3 - 2) に記入すること。
- (3) 打合せ等の日程は、後日、受付・問合せ担当校から発表校の担当者 (引率者) に連絡する。

7 発表会場でのセッティング、撤収、梱包等

発表会場でのセッティング及び発表終了後の撤収・梱包等については、発表校が行う。

8 交通費及び宿泊費（神奈川県以外の取扱い）

- (1) 発表者（1名）の宿泊費（1名1泊）については、後日送付する「宿泊要項」により申し込んだ場合のみ、事務局から一律1名1泊につき4,000円を補助する。交通費は補助しない。
- (2) 引率者の交通費、宿泊費等については、事務局では負担しない。
- (3) 宿泊希望者については、事務局が斡旋する。宿泊は、別途送付する「宿泊要項」による。

9 表彰

最優秀賞、優秀賞、奨励賞

10 申込方法

- (1) 各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会は、各学科の全国高等学校長協会が選んだ発表者を本募集要項に基づき、7月17日（金）までに所定の参加申込書（様式3-1、様式3-2）に必要事項を記入の上、受付・問合せ担当校へ郵送にて申し込むこと。
その際、発表者及び作品等の写真データ各1枚と、発表者紹介用のプロフィールを200から300字程度にまとめた文書を電子データとして添付すること。
また、発表内容、作品の概要を説明した図・写真等のデータがあれば添付し、都道府県名、学校名、発表者名等をデータの名称に用いること。
- (2) 担当者は、発表原稿を9月1日（火）までに受付・問合せ担当校へ送付すること。
- (3) 受付・問合せ担当校

学校名	所在地	校長 担当者
川崎市立 川崎総合科学高等学校	〒212-0002 川崎市幸区小向仲野町5-1 TEL 044-511-7336 FAX 044-511-9796 E-mail y.fujita@kst-h.ed.jp	校長 藤田 吉雄 担当者 小野塚 章

11 実行委員会事務局

神奈川県教育委員会 教育局高校教育課 全国産業教育フェア神奈川大会実行委員会事務局
担当 仲神、片受

〒231-8509 横浜市中区日本大通33 TEL 045-210-8276 FAX 045-210-8922

<http://sanfair.jp>

整理番号	
------	--

第 19 回全国産業教育フェア神奈川大会

さんフェア神奈川 2009

意見・体験発表参加申込書

* 生徒の個人データが含まれるので、郵送してください。

地区名	北海道 東北 関東 中部 (東海 北信越)	都道府県名											
学科区分	近畿 中国 四国 九州 (で囲む)												
ふりがな 学校名	立 高等学校	写真貼付欄 *											
学科・学年	科 年												
ふりがな 発表者	(男・女) *	縦 4cm × 横 3cm											
ふりがな 発表題目													
発表要旨	(大会冊子に掲載のため、100 字程度にまとめること。)												
担当者 (引率者)	ふりがな 所 属	立	高等学校										
	ふりがな 氏 名												
	所在地 〒												
	TEL	FAX											
	E-mail												

整理番号の欄は、何も記入しないこと。

整理番号	
------	--

第19回全国産業教育フェア神奈川大会

さんフェア神奈川 2009

意見・体験発表視聴覚機器等申込書

地区名	北海道 東北 関東 中部(東海 北信越) 近畿 中国 四国 九州 (で囲む)	都道府県名			
学科区分	農業 工業 商業 水産 家庭 看護 情報 福祉 総合 (で囲む)				
ふりがな 学校名	立	高等学校			
学科名	科				
ふりがな 担当者					
受付担当校に 設置を依頼する 機材		機 材 名	(設置数)	必 要 数	備 考
	1	ワイヤレスマイク	(未定)	本	
	2	ピンマイク	(未定)	本	
	3	液晶ビデオプロジェクター	2	台	
	4	DVDデッキ	1	台	
	5	ノートパソコン Win	2	台	
	6	演台 (レクチャーテーブル)	1	台	
	7			台	
	8			台	
	9			台	
	10			台	
	11				
	12				
発表校が 持参する機材	1			台	
	2			台	
	3				
	4				
	5				
リハーサル	リハーサルの希望 (で囲む)		希望する ・ 希望しない		
<その他確認事項等>					

整理番号の欄は、何も記入しないこと。

**第 19 回全国産業教育フェア神奈川大会
さんフェア神奈川 2009
作品・研究発表募集要項**

1 概要

専門高校等で学ぶ高校生が、学習や実験・実習等での作品、研究の目的・過程及び感想等をまとめて発表する。

2 発表数 10 発表

- (1) 全国の農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉・総合に関する学科から各 1 発表を行う。
- (2) 神奈川県は 1 発表。

3 日程

- (1) 期 日
平成 21 年 11 月 15 日 (日)
- (2) 時 間
9:30 ~ 11:50

4 会 場

パシフィコ横浜 メインホール
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1
TEL 045-221-2155 (総合案内) FAX 045-221-2136 <http://www.pacifico.co.jp>

5 内容等

- (1) 発表時間は、1 発表につき 12 分以内 (準備・整理時間を含む。)とする。
- (2) 発表用の機械・器具を使用してもよい。
なお、事務局では発表会場に液晶ビデオプロジェクター、DVD デッキ、ノートパソコン等を用意する (様式 4 - 2 を参照)。これら以外の機械・器具及び接続ケーブルについては、発表者が用意すること。
- (3) 発表作品の説明パネル
発表者は、発表作品に関する説明用パネルを、B 1 サイズ (728mm × 1,030mm) により作成する。
(作成費用は、発表者負担とする。)
説明パネルは会場内に展示する。その展示場所は受付・問合せ担当校で指定する。
説明パネルについては、11 月 11 日 (水) までに受付・問合せ担当校に送付する。(必着)

6 作品の受付

- (1) 作品受付
あらかじめ送付しておく作品等がある場合は、11 月 9 日 (月) から 11 月 12 日 (木) の間に受付・問合せ担当校へ送付する。
- (2) その他
上記以外は、当日発表者が持参する。

7 リハーサル及び打合せ等

- (1) リハーサルは、11 月 14 日 (土) に行うことができる。(時間は未定)
なお、発表当日はリハーサルをすることはできない。

- (2) リハーサルの有無については、機器等申込書（様式 4 - 2）に記入する。
- (3) 打合せ等の日程は、後日、受付・問合せ担当校から発表校（担当者）に連絡する。

8 発表会場でのセッティング、撤収及び梱包等

発表会場でのセッティング及び発表終了後の撤収、梱包等については、発表校が行う。

9 交通費・宿泊費及び作品輸送費（神奈川県以外の取扱い）

- (1) 発表する生徒（2名以内）の宿泊費（2名以内 1泊）については、後日送付する「宿泊要項」により申し込んだ場合のみ、事務局から一律1名1泊につき4,000円を補助する。交通費は補助しない。
- (2) 引率者の交通費、宿泊費等については、事務局では負担しない。
- (3) 宿泊希望者については、事務局が宿泊先を斡旋する。宿泊は、別途送付する「宿泊要項」による。
- (4) 作品輸送費（梱包代金等を含む）は、別途送付する「輸送要項」により申し込んだ場合のみ、往復20,000円を限度として事務局で負担する。

10 表彰

発表者には奨励賞を授与する。

11 申込方法

- (1) 各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会は、各学科の全国高等学校長協会が選んだ発表者を本募集要項に基づき、7月17日（金）までに所定の参加申込書（様式4-1、様式4-2）に必要事項を記入の上、受付・問合せ担当校へ郵送にて申し込むこと。
 その際、発表者（グループを含む）及び作品等の写真データ各1枚と、発表者紹介用プロフィールを200から300字程度にまとめた文書を電子データとして添付すること。
 また、発表内容・作品の概要を説明した図・写真等のデータがあれば添付し、都道府県名、学校名、発表者名等をデータの名称に用いること。
- (2) 発表校の担当者は、発表原稿を9月1日（火）までに受付・問合せ担当校へ送付すること。
- (3) 受付・問合せ担当校

学校名	所在地	校長 担当者
川崎市立 川崎総合科学高等学校	〒212-0002 川崎市幸区小向仲野町5-1 TEL 044-511-7336 FAX 044-511-9796 E-mail y.fujita@kst-h.ed.jp	校長 藤田 吉雄 担当者 おのづか あきら 小野塚 章

12 実行委員会事務局

神奈川県教育委員会教育局高校教育課 全国産業教育フェア神奈川大会実行委員会事務局
 担当 仲神、片受

〒231-8509 横浜市中区日本大通 33 TEL 045-210-8276 FAX 045-210-8922

<http://sanfair.jp>

整理番号	
------	--

第19回全国産業教育フェア神奈川大会

さんフェア神奈川 2009

作品・研究発表参加申込書

*生徒の個人データが含まれるので、郵送してください。

地区名	北海道 東北 関東 中部(東海 北信越) 近畿 中国 四国 九州 (で囲む)	都道府県名		
学科区分	農業 工業 商業 水産 家庭 看護 情報 福祉 総合 (で囲む)			
ふりがな 学校名	立 高等学校			
学科名	科			
ふりがな 発表者 *	氏名	学年	男・女	1は生徒代表者 (計 名)
	1			6
	2			7
	3			8
	4			9
	5			10
ふりがな 発表題目				
発表要旨	(大会冊子に掲載のため、100字程度にまとめること。)			
担当者 (引率者)	ふりがな 所 属 立 高等学校			
	ふりがな 氏 名			
	所在地 〒			
	TEL	FAX		
E-mail				

整理番号の欄は、何も記入しないこと。

第 19 回全国産業教育フェア神奈川大会

さんフェア神奈川 2009

作品・研究発表視聴覚機器等申込書

地区名	北海道 東北 関東 中部(東海 北信越) 近畿 中国 四国 九州 (で囲む)	都道府県名			
学科区分	農業 工業 商業 水産 家庭 看護 情報 福祉 総合 (で囲む)				
ふりがな 学校名	立 高等学校				
学科名	科				
ふりがな 担当者					
受付担当校に 設置を依頼する 機材		機材名	(設置数)	必要数	備考
	1	ワイヤレスマイク	(未定)	本	
	2	ピンマイク	(未定)	本	
	3	液晶ビデオプロジェクター	2	台	
	4	DVDデッキ	1	台	
	5	ノートパソコン Win	2	台	
	6	演台(レクチャーテーブル)	1	台	
	7			台	
	8			台	
	9			台	
	10			台	
	11				
12					
発表校が 持参する機材	1			台	
	2			台	
	3				
	4				
	5				
リハーサル	リハーサルの希望 (で囲む)			希望する・希望しない	
作品寸法 及び搬入方法 (必要事項を記入)	縦()cm × 横()cm × 高さ()cm 重量()kg				
	事前に送付・当日持参 (で囲む)			作品の電源	100v 50Hz A
<その他確認事項等>					

整理番号の欄は、何も記入しないこと。

第19回全国産業教育フェア神奈川大会
さんフェア神奈川2009
第8回フラワーアレンジメントコンテスト募集要項

1 趣 旨

専門高校等に学ぶ生徒が、フラワーデザインに関する技術と感性を育み、21世紀を担うスペシャリストとしての創造性・芸術性を高めることを目的とする。

2 出場者

全国の専門高校等に学ぶ生徒で、各都府県2名以内とする。

ただし、北海道（北北海道地区1名、東北海道地区1名、南北海道地区1名）3名、開催地である神奈川県については4名とする。

3 日 程

(1) 期 日 平成21年11月14日（土）、15日（日）

(2) 時 間

平成21年11月14日（土）		平成21年11月15日（日）	
受 付	9:00～ 9:30	作品展示	10:00～ 15:30
競技事前説明会	9:40～ 10:10		
開会式	10:30～ 10:50		
花材確認・競技準備	11:00～ 11:30		
競 技	11:30～ 12:20		
審 査	12:40～ 13:50		
一般公開	14:00～		
デモンストラシヨソソ	14:00～ 15:00		
表彰式・閉会式	15:00～ 15:30		
諸連絡			

4 会 場

パシフィコ横浜 ハーバーラウンジB（競技事前説明会のみ）、展示ホールA

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1

TEL 045-221-2155（総合案内） FAX 045-221-2136 <http://www.pacifico.co.jp>

5 内 容

第8回フラワーアレンジメントコンテスト実施規則による。（別紙）

6 交通費及び宿泊費（神奈川県外の取扱い）

- (1) 出場選手（2名以内）の宿泊費（2名以内1泊）は、後日送付する「宿泊要項」により宿泊を申し込んだ場合のみ、事務局から一律1名1泊につき4,000円を補助する。交通費は補助しない。
- (2) 引率者の交通費及び宿泊費については、事務局で補助しない。
- (3) 宿泊希望者については、事務局が宿泊先を斡旋する。宿泊は、別途送付する「宿泊要項」による。

7 申込方法

- (1) 各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会は、本募集要項に基づき、出場選手を平成21年9月1日(火)(必着)までに所定の参加申込書(様式5)に必要事項を記入の上、受付・問合せ担当校へ申し込む。
- (2) 受付・問合せ担当校

学校名	所在地	校長 担当者
県立吉田島農林高等学校	〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島281 TEL 0465-82-8330～8332(職員室) 82-0151(事務室) FAX 0465-82-7684 E-mail : engei-yoshidajima-ah@pen-kanagawa.ed.jp	校長 山崎 紀彦 担当者 <small>ちからいし</small> 力石 <small>あつし</small> 敦

8 その他

フラワーアレンジメントコンテスト実施規則の詳細については、受付・問合せ担当校に、文書またはFAXで問い合わせること。

問合せに対する回答は、文書またはFAXで各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会に送付する。

なお、Q & Aをホームページに公開。

ホームページ <http://sanfair.jp>

9 実行委員会事務局

神奈川県教育委員会教育局高校教育課 全国産業教育フェア神奈川大会実行委員会事務局
担当 いぬまき 岩崎、かたうけ 片受

〒231-8509 横浜市中区日本大通 33 TEL 045-210-8276 FAX 045-210-8922

<http://sanfair.jp>

(別紙)

**第19回全国産業教育フェア神奈川大会
さんフェア神奈川2009
第8回フラワーアレンジメントコンテスト実施規則**

1 制作規定

- (1) 指定した花器・花材のみを利用し、自分が考えたテーマにより、作品を制作する。競技終了後、10分以内に、制作した作品についてのテーマ、説明文を指定用紙に記入する。
- (2) フリースタイルとし、作品の大きさは自由とする。ただし、持ち運びに耐える大きさとする。
- (3) 花材は全て使用する必要はない。

2 使用花材・花器及び道具

- (1) 花器、花材は当日発表する。
- (2) 花器は事務局で用意する。また、フローラルフォームが入るような花器を予定し、1個のフローラルフォームを配布する。また、花器に装飾を施したり、花台を使用することは不可とする。
- (3) 花材・ゴミ袋は事務局で用意する。
- (4) 次のものは各自用意する。(下記以外のものは会場に持ち込んではいない。)
ハサミ、枝切りバサミ、ナイフ、ワイヤー、フローラルテープ、メジャー、雑巾、ピクニックシート、筆記用具

3 競技時間

- (1) 制作時間は50分以内とし、延長は認めない。
- (2) 残り時間について、10分前、5分前、1分前を口頭で知らせる。
- (3) テーマ及び説明文を記入する時間は、競技終了後、10分以内とする。

4 競技上の注意事項

- (1) フローラルフォームのセットは競技時間内とする。
- (2) 片付けは時間外でもよい。
- (3) ワイヤーの使用は、補強(セキュアリング)の為のみとし、装飾で使用してはならない。
- (4) 花材の交換は、原則として行わない。(但し、花材が破損等の場合は交換可能。)
- (5) 非常事態が生じたときには、その場で挙手で合図し、係員の指示に従う。
- (6) 競技終了までその場を離れない。
- (7) 審査は競技会場で行う。
- (8) 展示会場への作品の移動は、原則として制作者が行う。
- (9) 次の場合は失格とする。
他人の作品に何らかの害を加えた場合。
用意された花器・花材以外のものを使用した場合。
競技終了後、作品に触れた場合。

5 審査方法

フラワーデザインに関する専門的な知識・技術を有する有識者等5名により、作品内容・作品制作中の技術・態度について総合的に審査する。

6 表彰

金賞1点、銀賞1点、銅賞2点、審査員奨励賞5点とする。いずれも賞状及び副賞を授与する。

(様式 5)

整理番号	
------	--

第 19 回全国産業教育フェア神奈川大会
さんフェア神奈川 2009
第 8 回フラワーアレンジメントコンテスト参加申込書

* 生徒の個人データが含まれるので、郵送してください。

地区名	北海道 東北 関東 中部(東海 北信越) 近畿 中国 四国 九州(で囲む)	都道府県名	
ふりがな			
学校名	立		高等学校
ふりがな			
所在地	〒		
TEL			
FAX			
E-mail			
参加生徒*	学科等	科	年
	ふりがな		
	名 前	性別(男・女)*	
引率者	ふりがな		
	名 前		

平成 21 年 9 月 1 日(火)までに、担当校に申し込むこと。(必着)
参加者 1 名ごとに申込書を作成すること。
整理番号の欄は、何も記入しないこと。

**第 19 回全国産業教育フェア神奈川大会
さんフェア神奈川 2009
第 17 回全国高等学校ロボット競技大会募集要項**

1 趣 旨

全国の専門高校等で学ぶ生徒が、創造力を発揮して新鮮な発想で工夫を凝らし、仲間と協力しながらロボットを製作する過程をとおして、高度な技術・技能を習得し、「ものづくり」への興味・関心を高めるとともに、次世代を担う技術者としての資質を向上させる。

2 応募資格

工業に関する学科に在籍する者を原則とする。ただし、その他の学科からの参加申し出があれば別途検討する。

なお、チームは学校単位で構成し、出場者は 1 チーム 2 名とする。

3 日 程

(1) 期日

平成 21 年 11 月 14 日(土)～11 月 15 日(日)

(2) 時間

11 月 14 日(土) 11:00～16:30 車検及び公式練習、代表者会議

11 月 15 日(日) 9:00～16:30 競技大会

4 会 場

横浜文化体育館

〒231-0032

横浜市中区不老町 2 丁目 7 番地

TEL 045-641-5741 FAX 045-641-5744 <http://www.yspc.or.jp/buntai/shisetsu.htm>

5 競技内容

別紙「第 17 回全国高等学校ロボット競技大会 実施規則」による。(ホームページからダウンロードできる。)

6 作品の搬入および搬出

(1) 作品の搬入詳細については、申し込み受付後、受付・問合せ担当校から連絡する。

(2) 搬入する作品は、原則として梱包のまま保管できるものとする。保管に特別な配慮が必要なものは、受付・問合せ担当校と相談し、その旨を表記した掲示物を梱包に貼付すること。

(3) 11 月 15 日(日)競技大会終了後の作品の梱包、搬出は出場者が行う。出場者による梱包、搬出が困難な場合は、事前に受付・問合せ担当校と相談すること。

7 交通費・宿泊費及び作品輸送費

- (1) 各都道府県代表の出場選手（1チーム2名）の大会前日の宿泊費（1チーム2名 1泊）は、後日送付する「宿泊要項」により宿泊を申し込んだ場合のみ、事務局で一律1名1泊につき4,000円を補助する。交通費は補助しない。
- (2) 引率者の交通費及び宿泊費等については、事務局では補助しない。
- (3) ロボットの製作費、輸送費（梱包代金等を含む）、競技用の消耗品等の費用は、参加校が負担すること。
- (4) 宿泊希望者については、事務局が宿泊先を斡旋する。宿泊は、別途送付する「宿泊要項」による。

8 申込方法

各都道府県教育委員会、政令指定都市教育委員会は、本要項に基づき、次の日程で受付・問合せ担当校まで申し込むこと。申込書（様式6-1、2）は、ホームページからダウンロードできる。

- (1) 仮申込：平成21年5月25日（月）から29日（金）の間に、（様式6-1）により申し込む。
- (2) 本申込：平成21年9月28日（月）から10月2日（金）の間に、（様式6-2）により申し込む。
- (3) 仮申込台数が128台を超えた場合、本申込を制限することがある。その場合、調整後本申込の期間前に、関係各教育委員会あてに連絡する。

9 受付・問合せ担当校

学 校 名	所 在 地	校 長 ・ 担 当 者
県立神奈川工業高等学校	〒221-0812 横浜市神奈川区平川町 19-1 TEL 045-491-9461 FAX 045-413-4101 E-mail robot@pen-kanagawa.ed.jp	校 長 伊藤 武志 担 当 者 いねせ りつあ 岩瀬 律雄

10 問合せ方法

問合せは、次のE-mailにより行うこと。

なお、Q & Aをホームページにより公開する。

E-mail robot@pen-kanagawa.ed.jp

ホームページ <http://sanfair.jp>

11 実行委員会事務局

神奈川県教育委員会教育局高校教育課 全国産業教育フェア神奈川大会実行委員会事務局
担当 ひおき 日置、かたうけ 片受

〒231-8509 横浜市中区日本大通 33 TEL 045-210-8276 FAX 045-210-8922

<http://sanfair.jp>

第19回全国産業教育フェア神奈川大会
さんフェア神奈川2009

第17回全国高等学校ロボット競技大会 仮 申 込 書

平成21年 月 日

地 区 名	北海道 東北 関東 中部(東海 北信越) 近畿 中国 四国 九州(で囲む)	都道府県名		
ふりがな				
学 校 名	立 高等学校(全・定)			
学 科 名	科			
ふりがな	(10文字以内)			
チ-ム名				
担 当 者 (引率者等)	ふりがな			
	所 属	立 高等学校		
	職 名	ふりがな		
		氏 名		
	学校所在地 〒			
	TEL		FAX	
	担当者 E-mail			

平成21年5月25日(月)から5月29日(金)の間に、各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会できちんと受付け・問合せ担当校へ提出すること。

(担当校: 神奈川県立神奈川工業高等学校)

FAX 045-413-4101 E-mail robot@pen-kanagawa.ed.jp

1チーム1枚の申込書を作成すること。
整理番号の欄は、何も記入しないこと。

第19回全国産業教育フェア神奈川大会
第17回全国高等学校ロボット競技大会
本 申 込 書

平成21年 月 日

* 生徒の個人データが含まれるので、郵送してください。

地区名	北海道 東北 関東 中部(東海 北信越)		都道府県名	
	近畿 中国 四国 九州(で囲む)		予選順位	
ふりがな				
学校名	立		高等学校(全・定)	
学科名	科			
ふりがな	(10文字以内)			
ロボット名				
ふりがな 生徒氏名 *	氏名		学年	
	氏名		学年	
	氏名		学年	
	氏名		学年	
	氏名		学年	
ロボットの 特徴 ・大会への抱負				
担当者 (引率者等)	ふりがな			
	所属	立		高等学校
	学校所在地 〒			
	職名		ふりがな	
			氏名	
	職名		ふりがな	
			氏名	
TEL		FAX		
ロボット担当者 E-mail				

平成21年9月28日(月)から10月2日(金)の間に、各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会でまとめて受付・問合せ担当校へ提出すること。

1チーム1枚の申込書を作成すること。

整理番号の欄は、何も記入しないこと。

第 19 回全国産業教育フェア神奈川大会
さんフェア神奈川 2009

第 17 回全国高等学校ロボット競技大会
《足柄山の金太郎ロボット大会 2009 神奈川》
実 施 規 則

1 競技内容

(1) イメージ

「まさかりを担いだ金太郎が、熊にまたがり野山をかけ巡り、倒した大木で橋を架ける。力強く心優しい金太郎は、武士になって鬼を退治し、故郷に帰って母親を迎えに行く。」という金太郎の伝説にあやかって、金太郎のロボットがコート内の障害物をクリアしながらポイントを重ねていく競技である。

(2) 競技概要

金太郎ロボットが熊ロボットにまたがり、山に見立てたスロープを登り、まさかりを担ぐ。その後、大木を表すボイド管を倒して橋を架け、それを渡り、台の上にまさかりを置き、刀に持ち替える。武士となった金太郎ロボットは山を下り、鬼の障害物を乗り越えて土産を取って、母親のいるスタートエリアに戻る。これを繰り返し、周回しながら得点を重ね、3分間戦い抜く。クリアした得点の高いチームが勝利となる。

2 ロボットの規格及び製作規定

(1) 製作台数 1組(金太郎ロボット1台、熊ロボット1台)とする。

(2) サイズ

ア 外寸 幅 600mm×奥行 600mm×高さ(2台が組み合わせた際の寸法)自由

イ 車検時は金太郎ロボット、熊ロボットの2台を組み合わせ、コントロールボックス、コードを含めた寸法とする。

ウ 競技開始後の変形は自由とする。

(3) 重量

総重量は 20 kg以内とする。

(ロボット1組 コントロールボックス、コード等の全てを含む。)

(4) 動力源

ア 動力源は全てロボット本体に搭載し、外部からの供給はできないものとする。(コントロールボックス内の動力源も禁止)

イ 動力源の種類及び容量については制限しない。あらかじめエネルギーを蓄えた電気・バネ・ゴム・空気圧などの使用は許可する。ただし、燃焼を伴う火薬・内燃機関、異臭や人体に悪影響があるガス、油圧等の使用は禁止する。

(5) 制御方法・機構

ア 有線のリモートコントロールとし、コントロールボックスは各1個(金太郎ロボット、熊ロボット)とする。また、車検時に寸法内に全て収まらなければならない。

イ 「まさかり」「刀」「お土産」に接触する部分の粘着性のある部材の使用は禁止する。ただし、マグネット及び吸引は可とする。

ウ コントロールボックスとロボット本体の間は電線のみとする。

エ ロボットは開始の合図でスタートできる機構とすること。

(6) その他

ア ロボットは、生徒の製作したものに限る。

イ コートを損傷するものや会場内を汚濁させるものは禁止する。

ウ レーザーポインタをはじめ、発光を伴う照準装置は使用することはできない。

3 競技場 (P31 ~ P43 を参照)

(1) コート

ア 寸法 (競技コート概略図)

2,700mm × 5,400mm (内寸) とする。

イ コート枠

コートの木枠は、ツーバイシックス材 (2×6 インチ) とする。

ウ 床面

厚さ 12mm のコンクリートパネルとする。

(2) 各コートには、次のエリア・台がある。

ア 操縦エリア

イ 金太郎ロボットエリア (金太郎ロボットのスタートエリア)

ウ 熊ロボットエリア (熊ロボットのスタートエリア)

エ スロープ : 900mm × 900mm × 12mm, 高低差 450mm、スロープの角度約 30°

オ まさかり置き台 : 長さ 295mm、重量 0.45kg のまさかり (VESSEL 製 プラスチックハンマー 70-1) が、コート床面から高さ 850mm の台上にセットされている。台の外周部には、台の側面のコンクリートパネルによる 50mm の高さの縁がある。

カ 丸太エリア : 丸太 (フジモリ産業製 フジポイド 250mm 長さ 1,200mm) が直立している。直立状態を転倒可能にするために蝶番 (タキゲン製 FB-809-2) を用いてある。

キ 刀置き台 : 長さ 450mm の刀 (塩ビ管 VP-25) が、コート床面から高さ 850mm の台上にセットされている。台の外周部には、台の側面のコンクリートパネルによる 50mm の高さの縁がある。

ク 土産置き台 : 土産 (ミズノ製 硬式野球ボール 424 : 20H-424) が、コート床面から高さ 850mm の台上にセットされている。セットに際しては M12 (ISO 並) の丸平座金による。台の外周部には、台の側面のコンクリートパネルによる 50mm の高さの縁がある。

ケ 鬼のエリア : 鬼に見立てた障害物 (ミツギロン製 ミニカラーコーン 295mm × 295mm × H450mm 赤、青各 1 個) が、中央に 1 列で置いてある。

コ 土産置き BOX : 土産 (硬式野球ボール) を入れるための BOX が、コート内、金太郎スタート BOX の後に、200mm × 600mm ツーバイシックス材 (2×6 インチ) で囲われている。

サ 操縦エリア : コート枠の外側に、幅 900mm の操縦エリアがある。

(3) コート製作上、材料によるひずみ等により多少の誤差があるものとする。コンクリートパネルは、JAS 規格を使用する。

4 車検

(1) 車検は、「ロボットの規格及び製作規定」に基づいて検査する。(重量測定の最小単位は 0.01Kg とする。)

(2) 車検は、競技毎 (競技終了後) に行う。ただし、1 回戦の車検だけは前日に行い、車検に合

格したロボットのみが大会に出場できる。なお、車検不合格のものは車検時間中に改良後、改めて車検を受けることができる。

- (3) 車検合格後の改造は禁止する。

5 競技方法（概要）

- (1) 競技者は1チーム2名とする。1名は金太郎ロボット操縦者、他1名が熊ロボット操縦者とする。ただし、合体後の移動に関する動作は熊ロボット操縦者、「まさかり、刀、お土産」に関する動作は金太郎ロボット操縦者が行う。

- (2) 競技時間は、開始合図から終了合図までの3分間とする。

- (3) 競技者は、競技開始90秒前の放送指示で以下のことを行う。

ア ロボットは展開前の状態（コントロールボックス、コードを除く）で、各ロボットをコート内の金太郎ロボットスタートエリアと熊ロボットスタートエリアにセットし、コントロールボックスを操縦エリア上に置く。

イ 「まさかり（プラスチックハンマー）」、「刀（塩ビパイプ）」、「お土産（硬式野球ボール）」をそれぞれの台の上にセットする。（セットする位置は自由。ただし、台の板の上に重ねず、平置きすること。縁の上に置いてはならない。）

- (4) 競技者は、競技開始の合図でコントロールボックスを取り上げてスタートする。

- (5) スタート後に金太郎ロボットはスタートエリアを出て、熊ロボットにまたがる。

その後の移動は熊ロボットのみで行う。これ以降、金太郎ロボットは熊ロボットを降りてはならない。（金太郎ロボットでの移動もしてはならない。）

- (6) （熊ロボットにまたがった）金太郎ロボットは、坂を登り、まさかりを1つつかむ。まさかりを手にした（同上）金太郎ロボットは、丸太を倒し橋を架け、谷を渡る。

- (7) 谷を渡って刀のエリアに入り、まさかりと刀を交換する。

- (8) 刀を手にした（同上）金太郎ロボットは山を下り、障害物（鬼）を退治する（越える）。

- (9) 鬼を退治した後に、刀とお土産を交換し、スタートエリアに戻り、お土産BOXにお土産を入れる。競技終了の合図まで、周回を続ける。

- (10) 競技終了の合図と同時に、競技者はコントロールボックスを操縦エリア上に置き、審判の指示を待つ。

- (11) 各試合毎に、得点上位の半数チームが、以降の試合に進出することができる。

- (12) 「まさかり」、「刀」、「お土産」を競技コート内に落とした場合は、拾って使用することができるが、競技コート外に落ちてしまった場合は、使用することができない。競技コート内やロボット内に落ちて拾えない場合、及び競技コート外に落とした場合は、戻って取り直しをするかリスタートをしなければ、先には進めない。

- (13) リスタート

ア 競技中1回のみリスタートを認める。ただし、試合時間は延長しない。

イ 審判にリスタートの旨を伝え、許可を得る。

ウ 丸太を競技者が元に戻す。（2週目以降は行わなくてよい。）

エ ロボットが持っているまさかり・刀は、競技者が台に戻す。

オ ロボットの調整修理が必要な場合には、コース外に出して行う。

カ リスタート：1周目の場合は、それぞれのスタートエリア内にロボットを合体前の状態にセットし、2週目以降の場合は熊のスタートエリアに合体した状態でセットできる。

- (14) その他

熊ロボットは、金太郎ロボットを乗せて移動する以外の動作をしてはならない。ただし、移動の障害物となる丸太エリアでの丸太を倒す動作、鬼エリアでの鬼を移動させる動作は行ってもよい。

6 勝敗の判定基準

(1) 得点	1 周目	2 周目以降
熊ロボットにまたがる	(10 点)	
スロープをのぼる	(10 点)	(10 点)
まさかりを取る	(10 点)	(10 点)
まさかりを持って大木 (ポイド管) を倒す	(10 点)	
まさかりを持って大木の橋を渡る	(10 点)	(10 点)
まさかりを台の上に置き刀を取る	(10 点)	(10 点)
刀を持ってスロープをおりる	(10 点)	(10 点)
刀を持って鬼を退治する	(10 点)	(10 点)
刀を置き、お土産を取る	(10 点)	(10 点)
お土産をボックスに入れる	(10 点)	(10 点)

* 前の行程をクリアできない場合は、それ以降のポイントに進むことはできない。「まさかり」「刀」「お土産」は、各5セット置く。

* リスタート以前の周回分の得点は認めるが、リスタートする周回のそれまでの得点は無効となる。

(2) 勝敗は、得点の高い方を勝ちとする。

ア 同点の場合は、ロボット総重量 (車検時) の軽いチームを勝ちとする。

イ 総重量が同じ場合はジャンケンで決める。

ウ パーフェクトの場合 (「まさかり」「刀」「お土産」の5個すべてを所定の位置に置き終わった状態。「お土産」が「お土産置き BOX」の床面に着地し、安定した状態 <BOX 外に出ないことが確認できた> になった時) は所要時間の短い方を勝ちとする。

7 競技上の注意事項等

- (1) 金太郎ロボットの操縦者と熊ロボットの操縦者は、競技毎に交代してもよいが、競技途中での交代は認めない。
- (2) 操縦者は、互いのコントロールボックスからの配線を、相手の操縦の妨げにならぬよう手助けをしても良い。
- (3) 操縦者は、ロボットをセットする時以外はコート内に立ち入ってはならない。
- (4) 競技開始前にロボットが正しく置かれていなければ、ロボットをスタートさせることができない。その場合、リモコン操作で再セットしてはならない。審判の確認と合図により、リモコン操作もスタートさせる。競技終了は全体の終了合図に従う。
- (5) 競技開始時にフライングをしてはならない。
(注) フライングの場合は審判の指示で競技を中止し、リモコン操作でロボットをスタート前の状態に戻した後、審判の合図で再スタートする。競技終了は全体の終了合図に従う。
- (6) 操縦者は、操縦エリア内で競技を行う。
- (7) 操縦者は、ロボット本体やコート内の物に触れてはならない。
- (8) コート木枠に足が触れても良いが、故意に振動等を与えてはならない。

- (9) コントロールボックスからロボットへのコードは、コート内に触れても良いが、丸太、まさかり、障害物やお土産等に故意に触れてはならない。
- (10) 金太郎ロボットは、競技終了まで熊ロボットにまたがっていなければならない。(2体のロボットが合体した状態のままでいなければならない。)
- (11) 大会期間中、競技場(メイン競技場内)に立ち入ることができるのは、競技者2名と競技役員のみとする。(公式練習については、引率者1名が立ち入ることができる)ただし、修理場については、この限りではない。

8 失格事項

(1) 競技者に対する事項

- ア 審判の注意・指導に従わなかった場合。
- イ 競技者2名がコール席を出るまでに集合しなかった場合。
- ウ 競技者がコート内の物に触れた場合。
- エ コートに故意に振動等を与えた場合。
- オ ロボットとコントロールボックス間のコードを用いて、ロボット本体やまさかり・刀等を故意に操作した場合。
- カ コートを破損・汚濁させた場合。
- キ 競技場に競技者2名以外(チーム関係者)が立ち入った場合。
- ク 競技中に無線による交信をした場合。
- ケ 競技者が、相手又は審判員の人格を損ねる言動や行為に及んだとき、または、ロボットに同様な装置を内蔵したり、文字や記号を書き込んだりした場合。

(2) ロボットに対する事項

- ア 「ロボットの規格及び製作規定」に違反した場合。
- イ 車検において、ロボットが車検に合格していない場合。また、車検合格後に改造して出場した場合。

(3) その他

- 競技の公正を害すると思われる場合。

9 異議申し立て

審判の判定に対し、異議の申し立てをすることはできない。

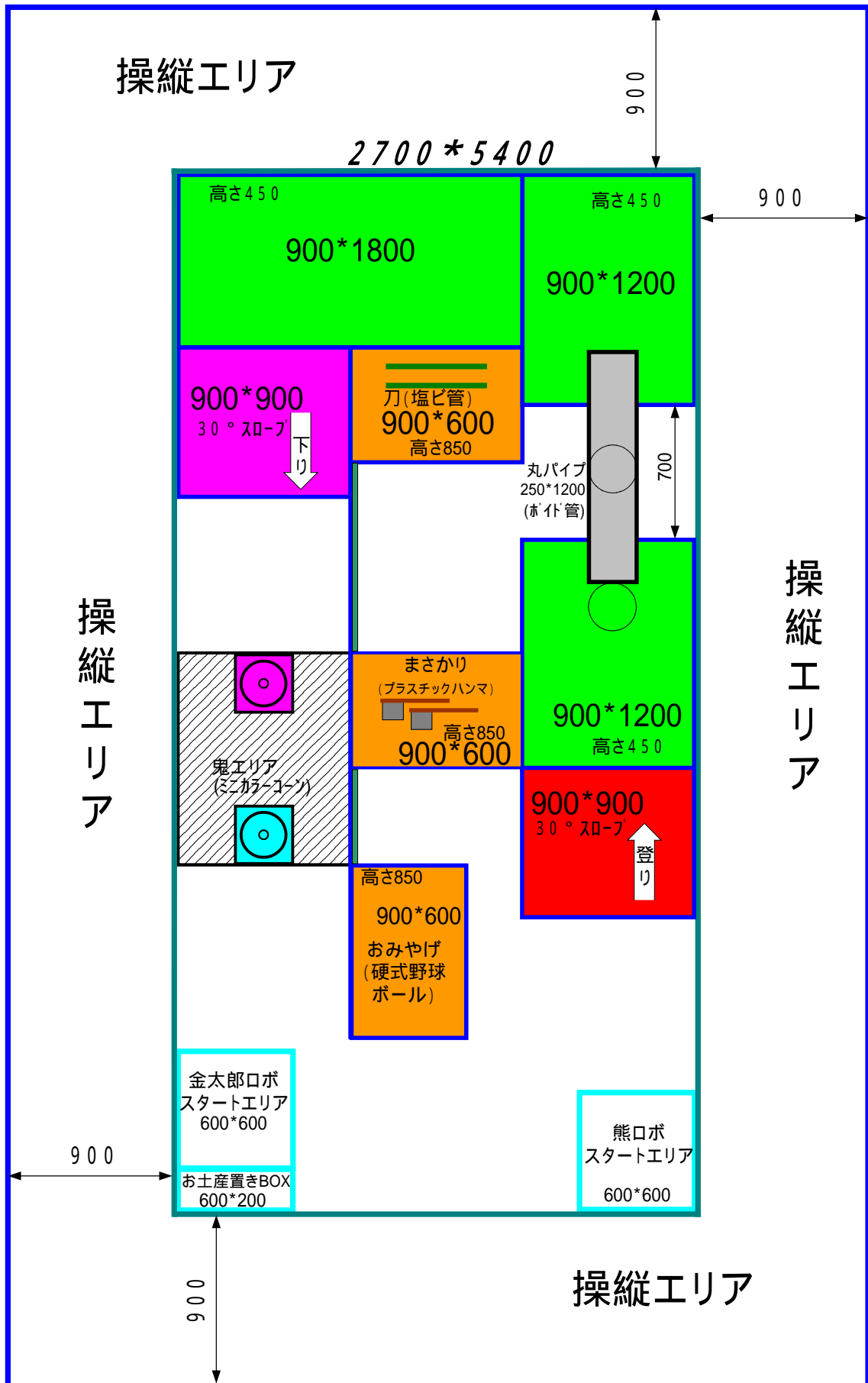
10 その他

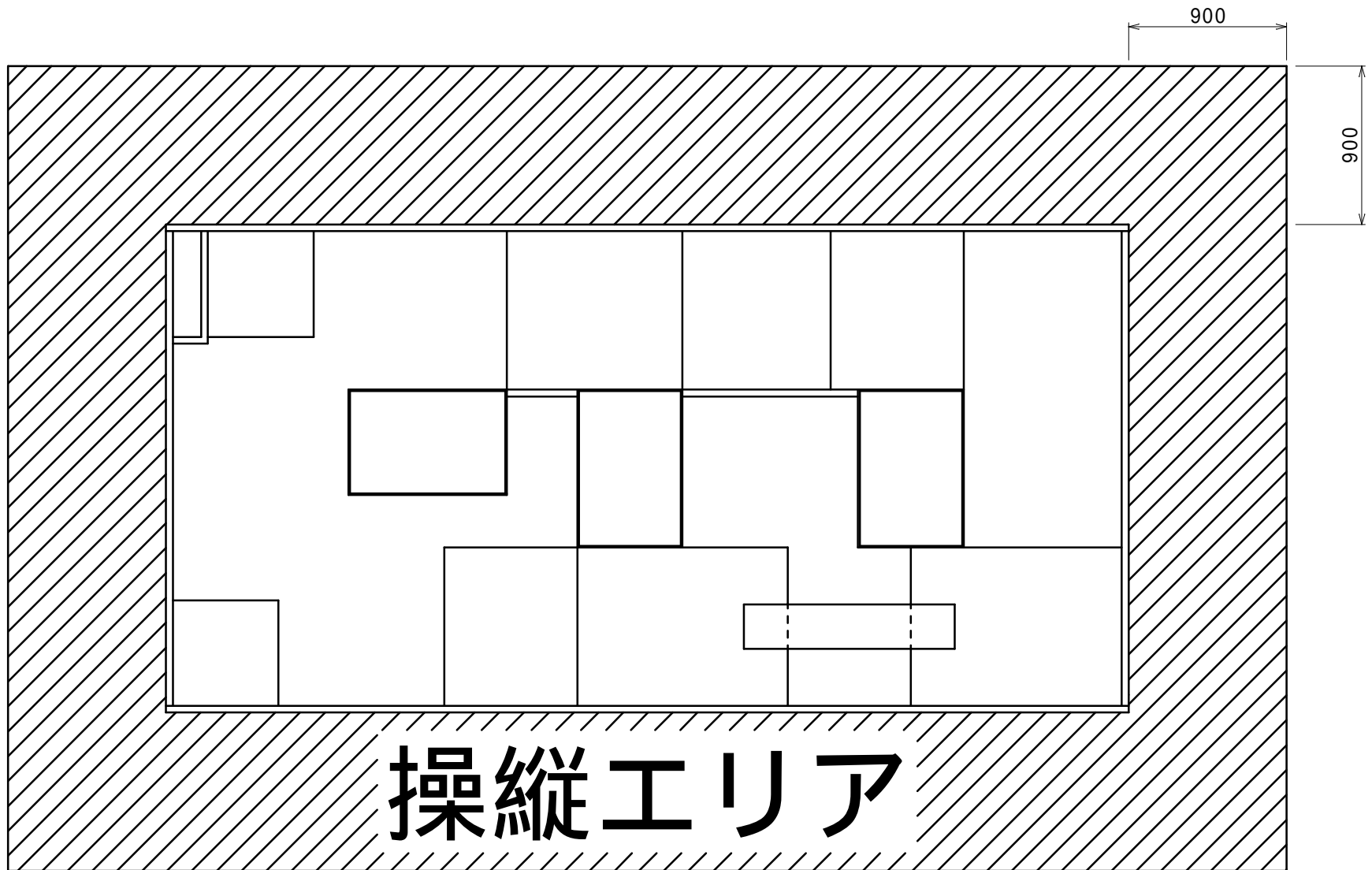
- (1) 不測の事態が生じた場合は、大会役員が協議して対処を決定する。
- (2) 大会中の怪我等については、応急手当を行うが、主催者は一切の責任を負わない。

11 受付・問合せ担当校

学 校 名	所 在 地	校 長 ・ 担 当 者
県立神奈川工業高等学校	〒221-0812 横浜市神奈川区平川町 19-1 TEL 045-491-9461 FAX 045-413-4101 E-mail robot@pen-kanagawa.ed.jp	校 長 伊藤 武志 担当者 いわさ 岩瀬 律雄

「競技コート概略図」





- 1) 12mmのコンパネ材を9枚敷き、その上にコースを配置のこと
- 2) フィールド内のパーツについては、移動しないよう木工用ビスにてコース上以外の場所へ固定のこと

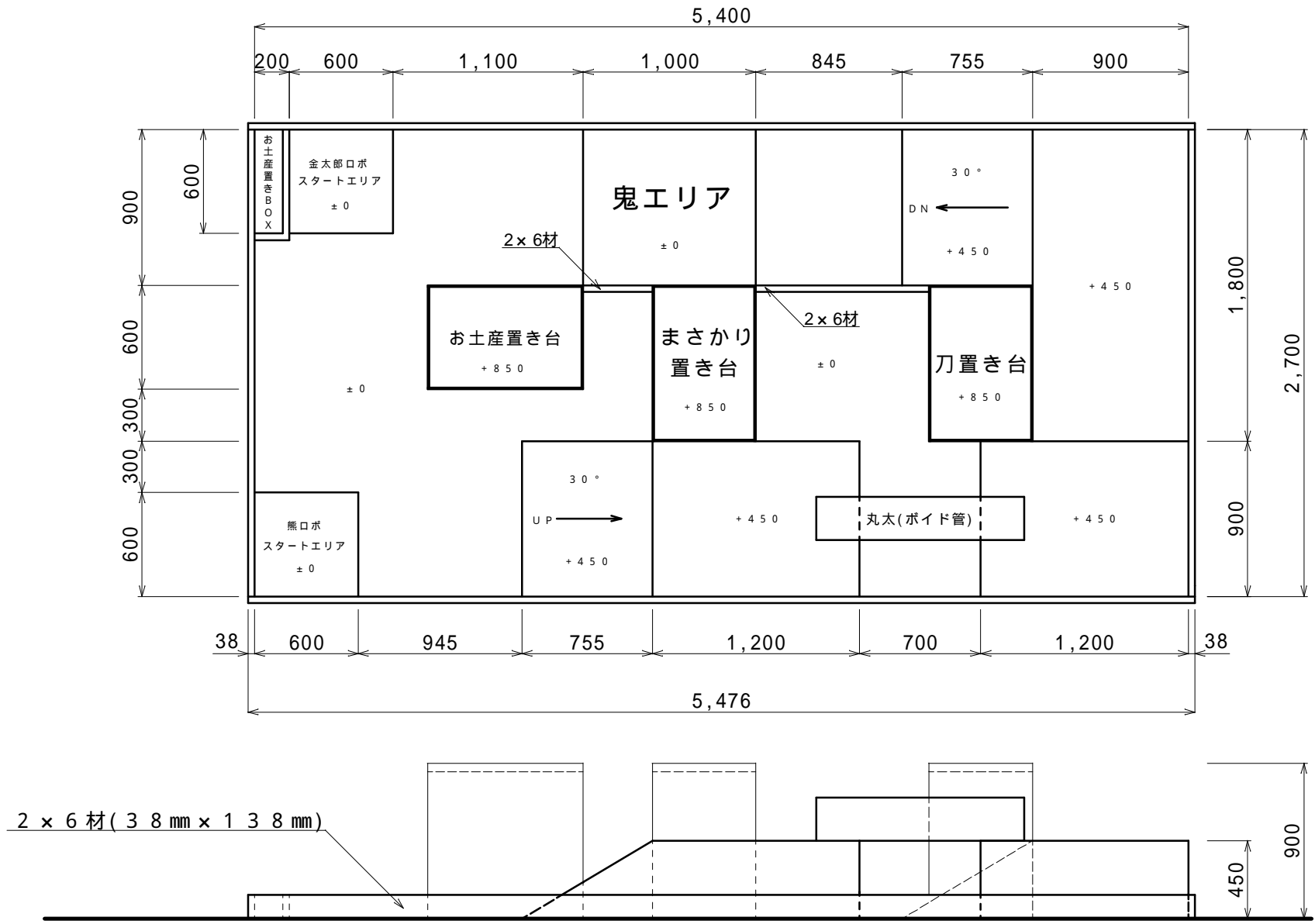
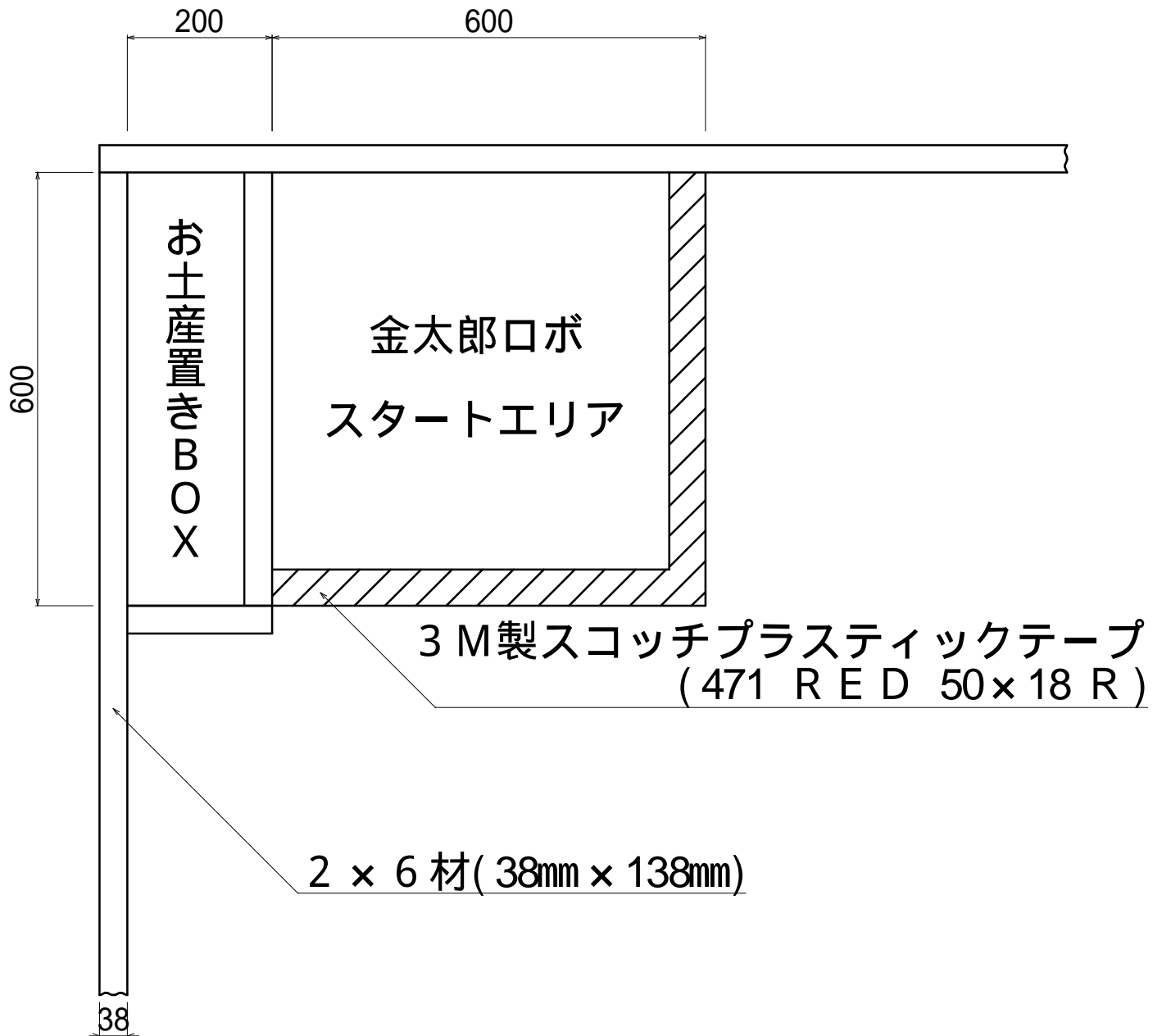


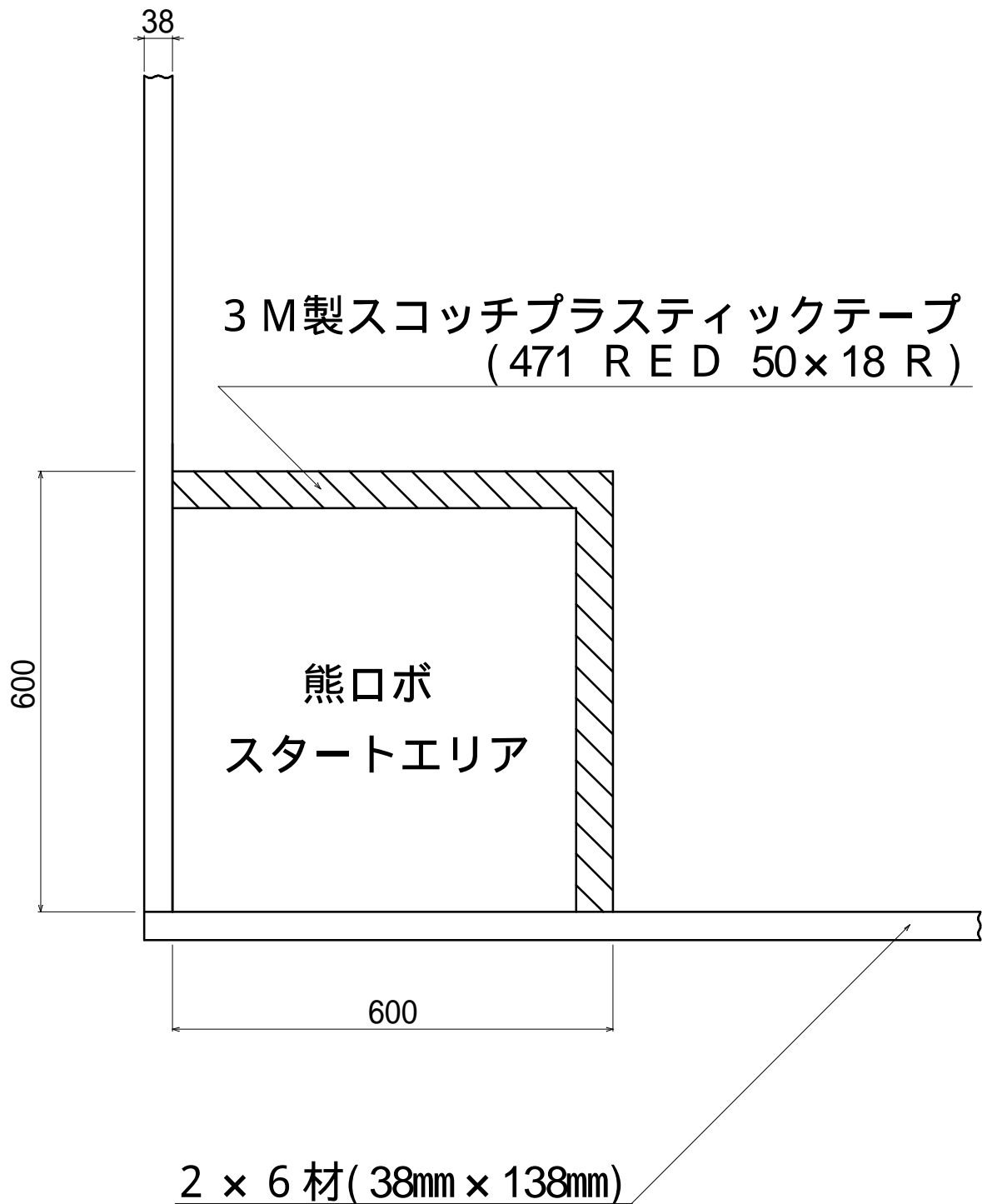
図 1 - 2 コース平面図

- 1) コース外周およびお土産BOXは、2 × 6 材(38mm × 138mm)を使用し、木工用ビスにて組立のこと
- 2) 金太郎口ボスタートエリアは、3 M製スコッチプラスチックテープ
(471 R E D 50 × 18 R)にて区分けすること



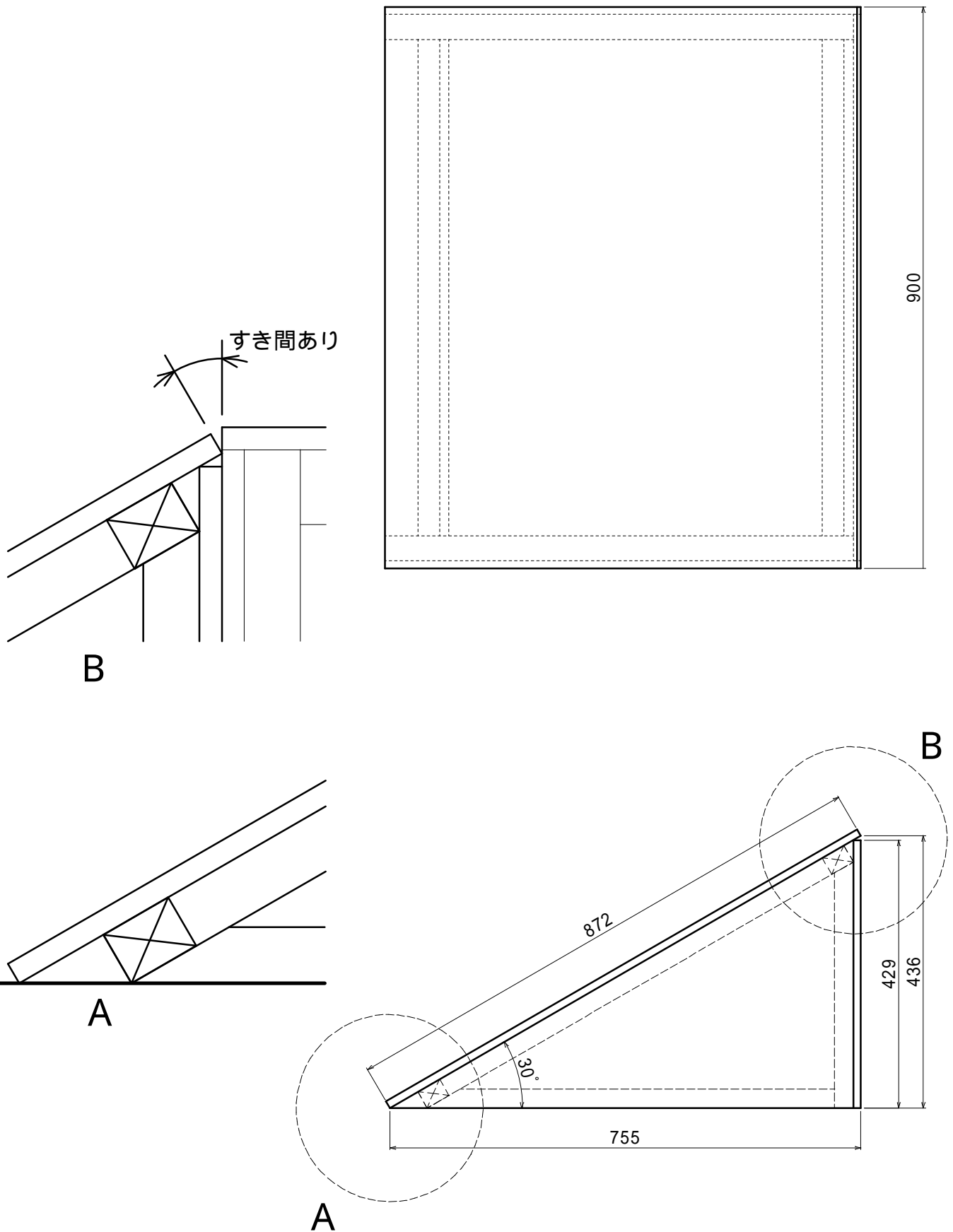
1) コース外周は、2 × 6 材(38mm × 138mm) を使用し、木工用ビスにて組立のこと

2) 熊口ボスタートエリアは、3 M製スコッチプラスチックテープ
(471 R E D 50 × 18 R) にて区分けすること



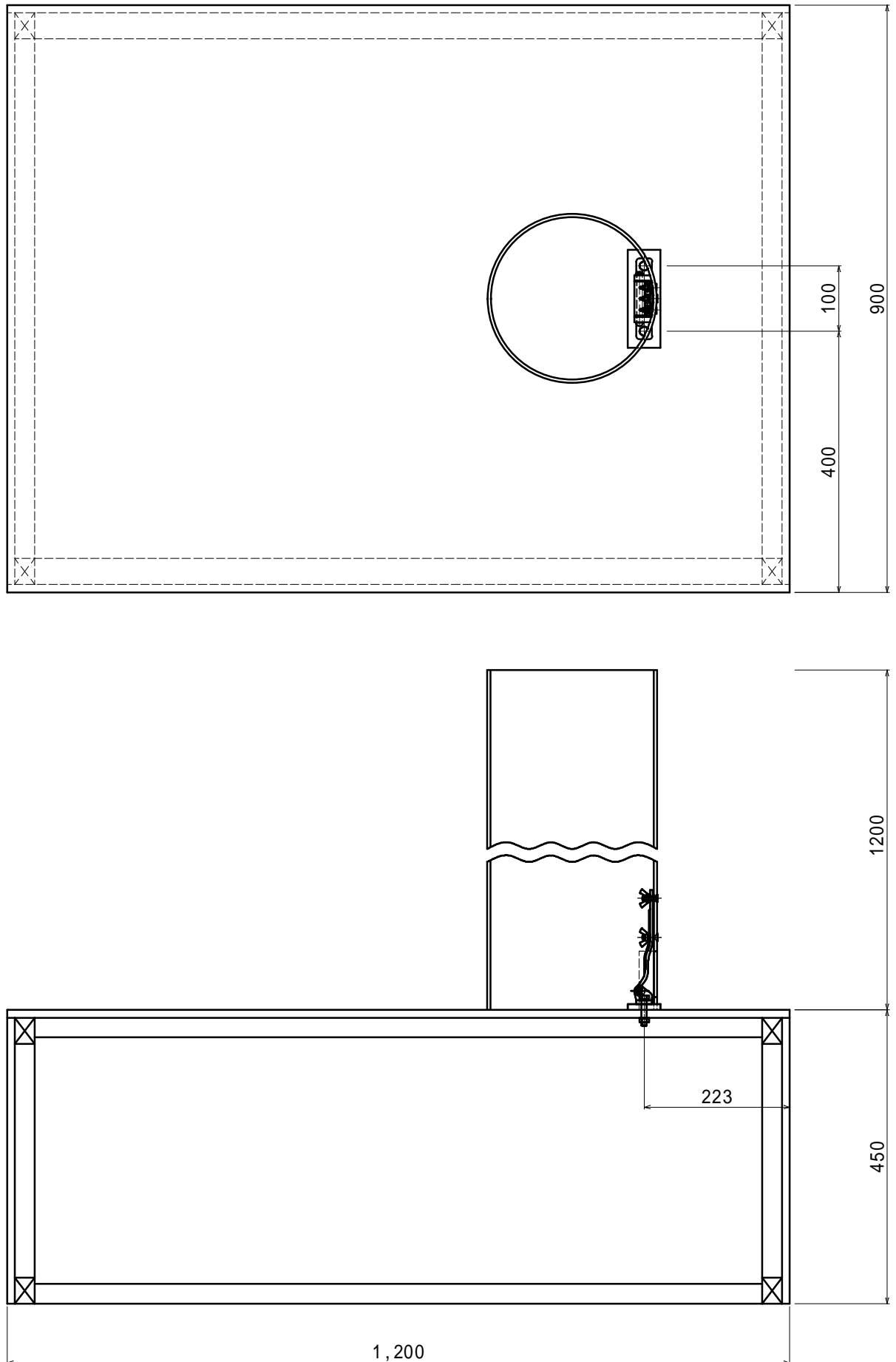
1) 固定用垂木材は30mm × 40mmを使用し、木工用ビスにて組立のこと

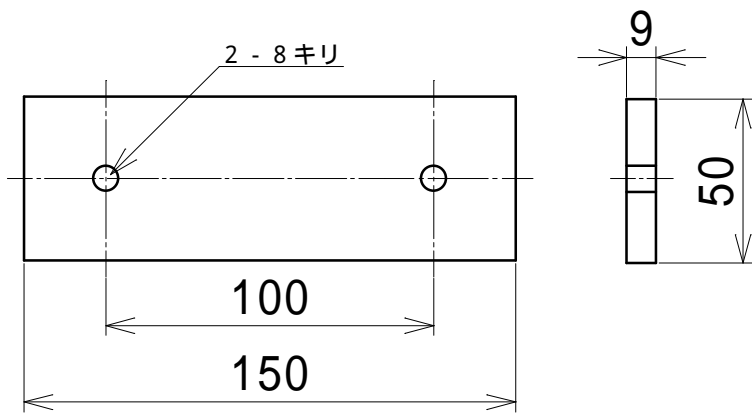
2) 枠板および天板は12mmのコンパネ材を使用し、木工用ビスにて固定のこと



1) 固定用垂木材は30mm × 40mmを使用し、木工用ビスにて組立のこと

2) 枠板および天板は12mmのコンパネ材を使用し、木工用ビスにて固定のこと





スパーサー部詳細図

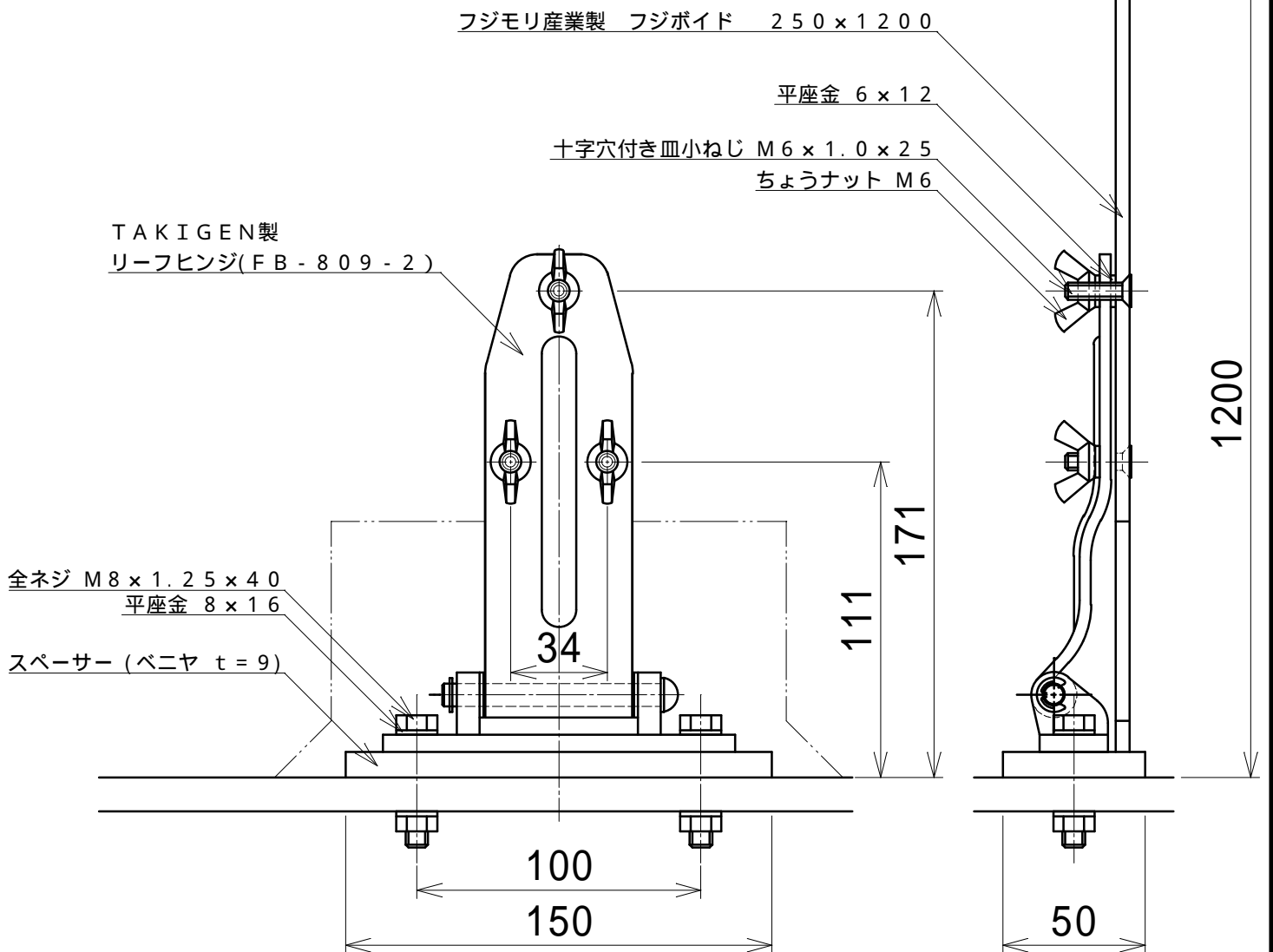
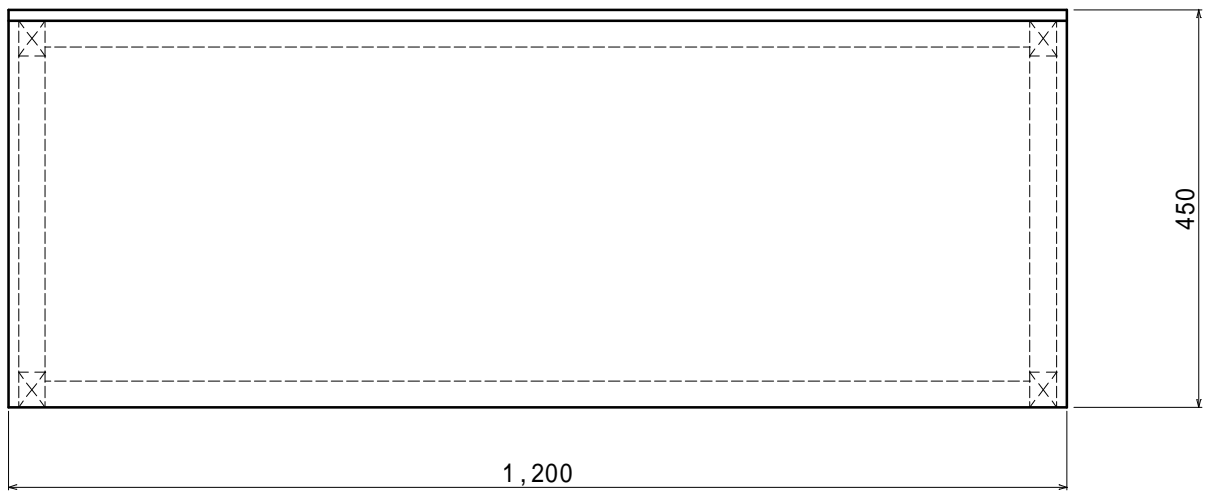
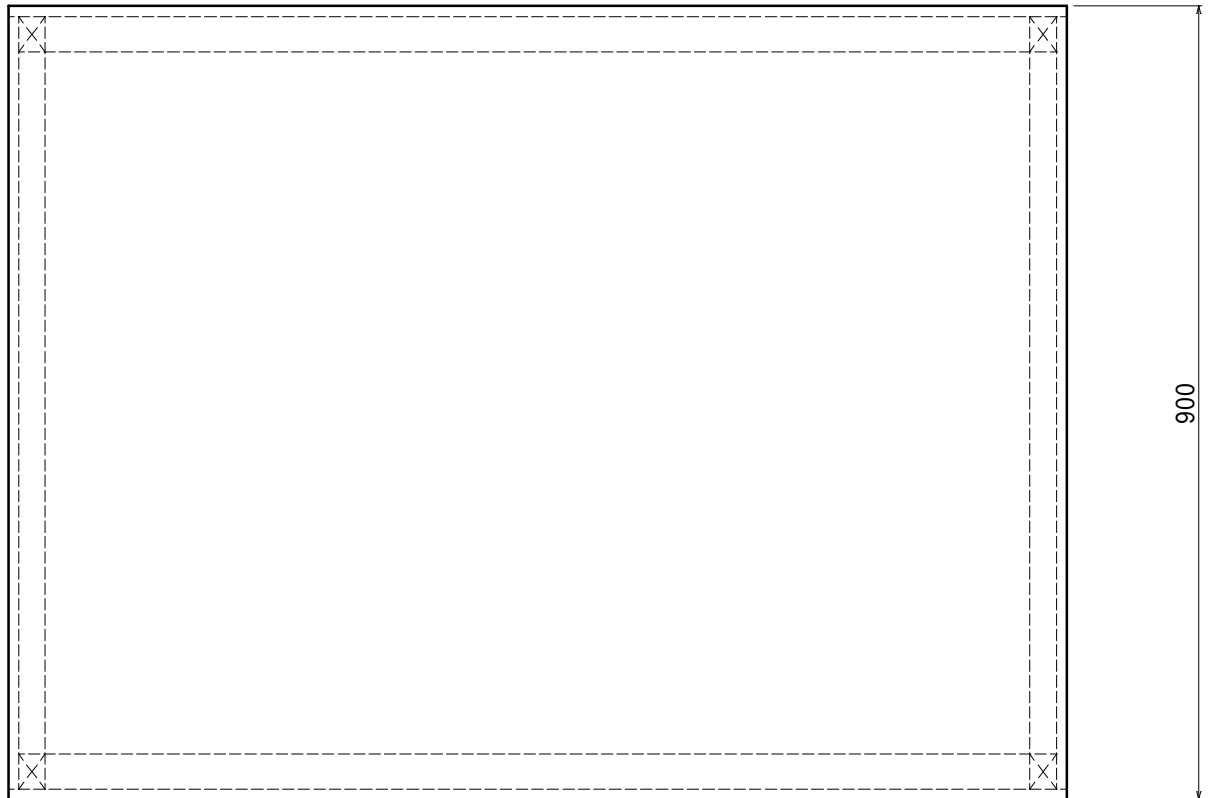


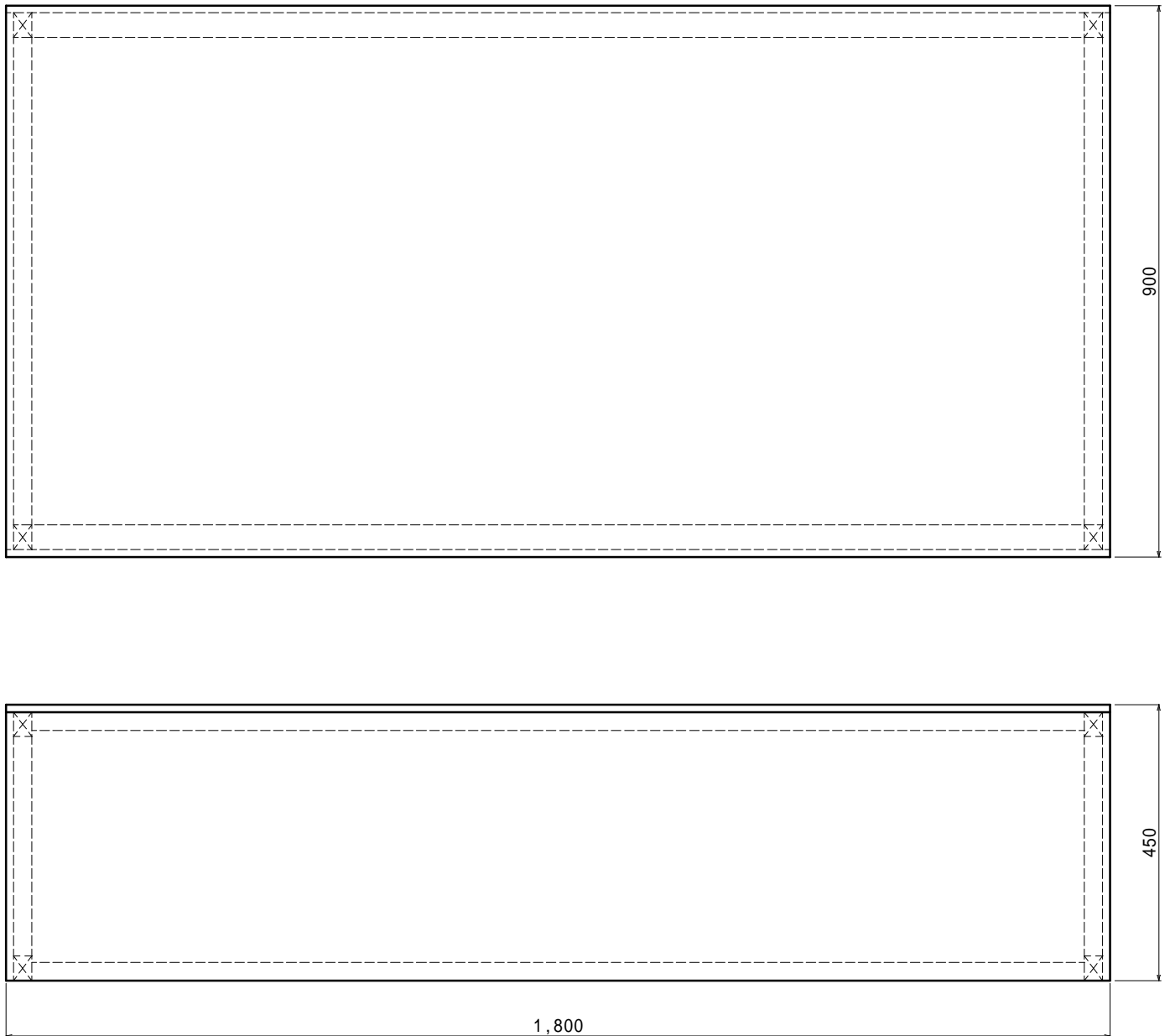
図 5 - 2 部品図

1) 固定用垂木材は30mm × 40mmを使用し、木工用ビスにて組立のこと

2) 枠板および天板は12mmのコンパネ材を使用し、木工用ビスにて固定のこと

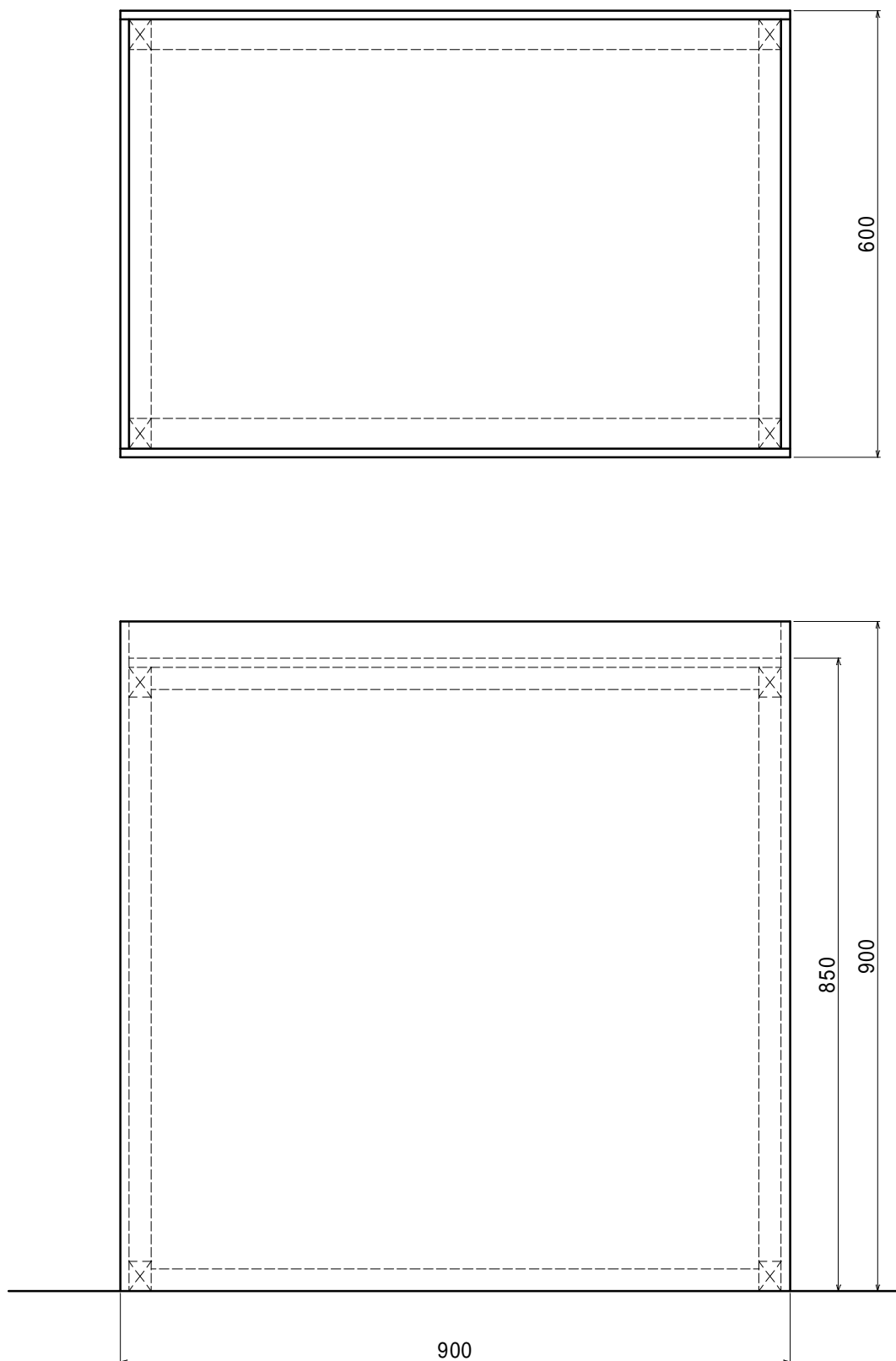


- 1) 固定用垂木材は30mm × 40mmを使用し、木工用ビスにて組立のこと
- 2) 桹板および天板は12mmのコンパネ材を使用し、木工用ビスにて固定のこと



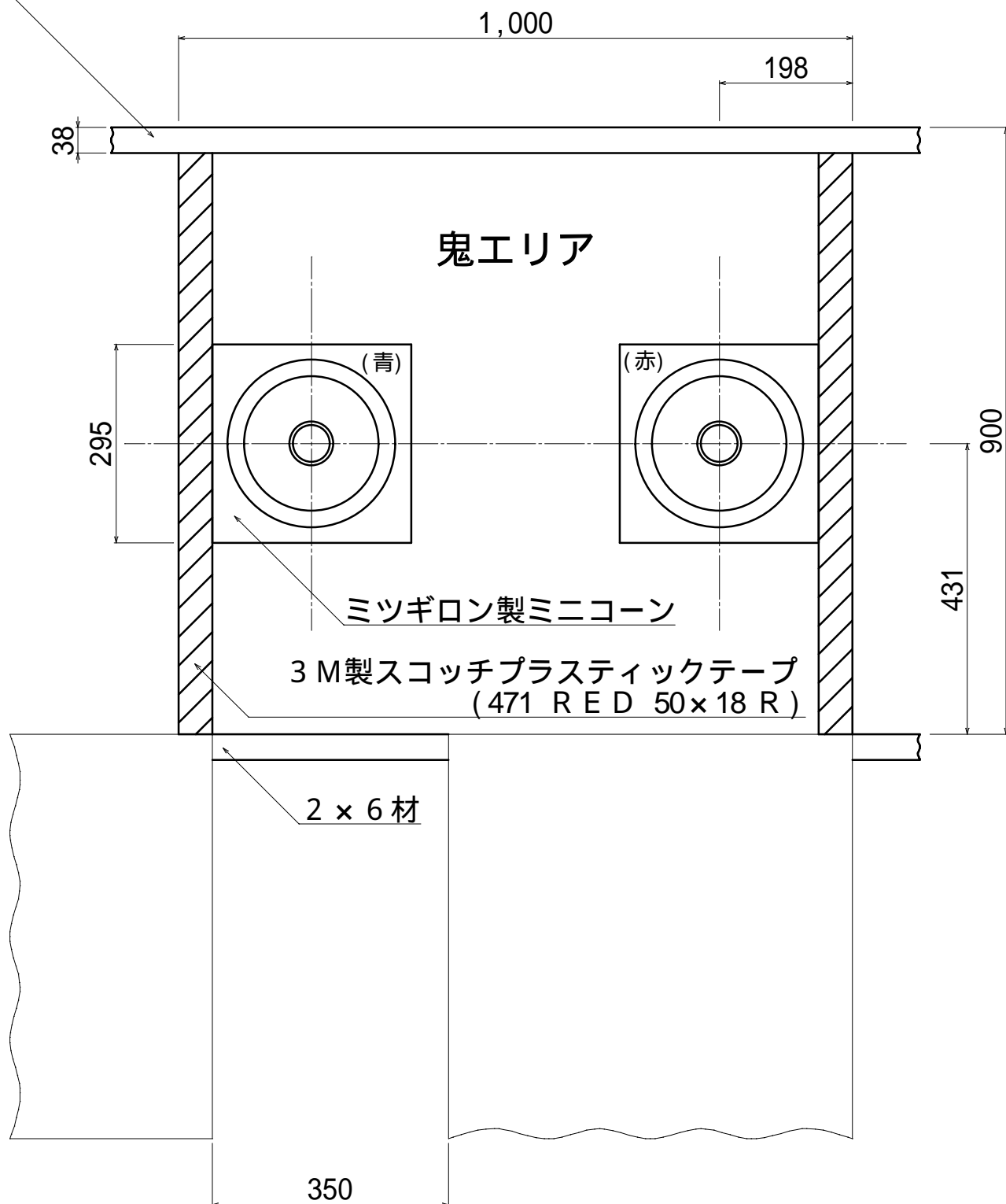
1) 固定用垂木材は30mm × 40mmを使用し、木工用ビスにて組立のこと

2) 枠板および天板は12mmのコンパネ材を使用し、木工用ビスにて固定のこと



- 1) コース外周は、2 × 6 材(38mm × 138mm)を使用し、木工用ビスにて組立のこと
- 2) 鬼エリアは、3 M製スコッチプラスチックテープ(471 R E D 50×18R)にて区分けすること
- 3) 鬼は、ミツギロン製ミニコーン(レッド、ブルー各1個)を使用のこと

2 × 6 材(38mm × 138mm)



鬼エリア

ミツギロン製ミニコーン

3 M製スコッチプラスチックテープ
(471 R E D 50 × 18 R)

2 × 6 材

参加申込方法等一覧

募集内容	申込方法		ページ	締切日	送付先（受付担当校）
1 作品展示	選出は、各学科の全国高等学校長協会の推薦により行われます。選出された学校から提出された参加申込書を取りまとめ、申し込んでください。	A	1～5	7月17日 (金)	各学科の受付・問合せ担当校 募集要項3ページの担当校 一覧参照
2 学校生産物等 展示即売	貴管内の農業・商業・水産に関する専門高校等に募集し、参加申込書を取りまとめ、申し込んでください。	B	6～9	7月17日 (金)	〒229-1103 県立相原高等学校 相模原市橋本2-1-58 TEL 042-772-0331 FAX 042-772-9734
3 意見・体験発表	選出は、各学科の全国高等学校長協会の推薦により行われます。選出された学校から提出された参加申込書を取りまとめ、申し込んでください。	A	10～13	7月17日 (金)	〒212-0002 川崎市立川崎総合科学高等学校 川崎市幸区小向仲野町5-1 TEL 044-511-7336 FAX 044-511-9796
4 作品・研究発表	選出は、各学科の全国高等学校長協会の推薦により行われます。選出された学校から提出された参加申込書を取りまとめ、申し込んでください。		14～17	7月17日 (金)	〒212-0002 川崎市立川崎総合科学高等学校 川崎市幸区小向仲野町5-1 TEL 044-511-7336 FAX 044-511-9796
5 フラワーアレンジ メントコンテスト	貴管内の専門高校等に募集し、参加申込書を取りまとめ、申し込んでください。	B	18～21	9月1日 (火)	〒258-0021 県立吉田島農林高等学校 足柄上郡開成町吉田島281 TEL 0465-82-0151 FAX 0465-82-7684
6 全国高等学校 ロボット競技大会	貴管内の専門高校等に募集し、参加申込書を取りまとめ申し込んでください。		22～43	仮申込 5月25日(月) から 5月29日(金) 本申込 9月28日(月) から 10月2日(金)	〒221-0812 県立神奈川工業高等学校 横浜市神奈川区平川町19-1 TEL 045-491-9461 FAX 045-413-4101
7 高校生ロボット 相撲全国大会	全国工業高等学校長協会により、募集が行われる。	C			〒252-0803 県立藤沢工科高等学校 藤沢市今田744番地 TEL 0466-43-3402 FAX 0466-43-4942
8 高校生ものづくり コンテスト 全国大会					〒250-0852 県立小田原城北工業高等学校 小田原市栢山200番地 TEL 0465-36-0111 FAX 0465-37-5425

募集・応募フロータイプ

(詳細は、別紙「第19回全国産業教育フェア神奈川大会に係る募集・応募フロー」を参照してください。)

A 学科別の全国高等学校長協会の選出によるもの

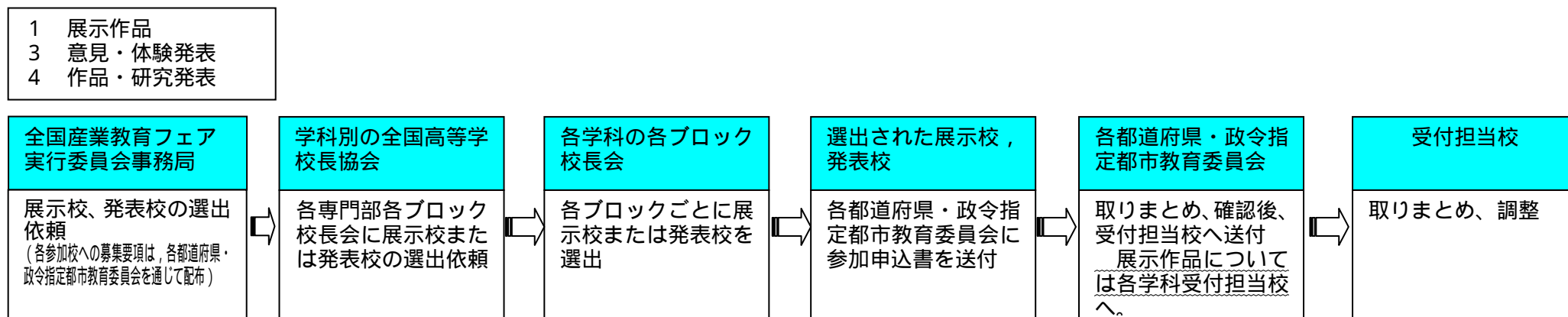
B 全国の関係高等学校に募集するもの

C 他の団体により、募集が行われるもの

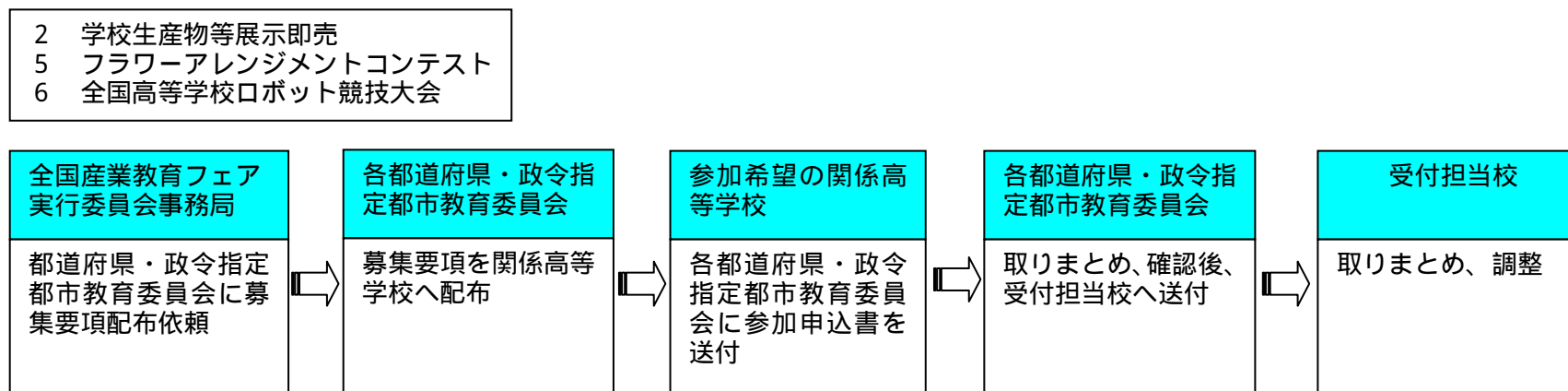
* A・Bともに都道府県教育委員会が取りまとめ、担当校へ送付する。

第 19 回全国産業教育フェア神奈川大会に係る募集・応募フロー

A 学科別の全国高等学校長協会の選出によるもの



B 全国の関係高等学校に募集するもの



C 他団体により募集が行われるもの

7 高校生ロボット相撲全国大会 ……………	社団法人全国工業高等学校長協会
8 高校生ものづくりコンテスト全国大会……………	社団法人全国工業高等学校長協会

募集・参加関連日程

平成 21 年 3 月下旬頃 さんフェア神奈川 2009 開催要項(案)、募集要項(案)を 各都道府県・政令指定都市教育委員会及び学科別の全国高等学校長協会に送付。

平成 21 年 5 月上旬頃 さんフェア神奈川 2009 開催要項、募集要項を各都道府県・政令指定都市教育委員会及び学科別の全国高等学校長協会に送付。